

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	1・1・1	評価担当課	子育て定住推進課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	親・子ども・地域がひとつになった子育て支援環境の充実				-	○
目標	丸森町は子育てしやすいまちだと感じる保護者の割合					
現状と課題	<p>全国的に、少子化対策は緊急の課題となっています。本町において、出生率は増加に転じていますが、全国平均等を下回る状況にあります。また、核家族化の進行や共働き世帯の増加などもあって、子育て家庭の環境は大きく変化しています。さらに、家庭や地域における子育て力の低下が懸念され、出産や子育てへの不安を抱く親も増加しています。</p> <p>本町では、これまででも保育施設の新設や保育料・医療費の助成など、子育て支援施策の充実に努めてきました。その結果、平成23年以降、出生率が増加するなど一定の成果をあげていますが、より一層、住み慣れた地域で、安心して子どもを育てることができるよう、環境の整備や相談・支援体制の充実が求められています。</p>				施策の内容	子どもを中心に家庭、地域、学校・保育所等、職場、行政など様々な立場の人々が子育て支援に対する理解を深め、意識を共有しながら連携して子育てしやすい環境づくりを推進します。

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
子育て支援センター利用率	%	40.6	50.0	60.0	60.0	60.0	-	0.82	50.0	0.98
			52.0	61.0	84.0	49.0	△	-		
子育てサポートー育成数	人	15	30	30	30	30	-	0.97	25	1.16
			29	29	29	29	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
子育て支援センター利用率	%	40.6	50.0	60.0	60.0	60.0	-	0.82	60.0	0.82
			52.0	61.0	84.0	49.0	△	-		
子育てサポートー育成数	人	15	30	30	30	30	-	0.97	25	1.16
			29	29	29	29	△	-		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	52	78	71	1,221	8,151	136

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<p>[ ]おおむね順調</p> <p>[ ]いっそうの推進が必要</p> <p>[ ]抜本的に見直しや改善が必要</p>		
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事業事業数	2	事業
成果 A	2事業	(100.0%)
B	事業	(0.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
コスト A	2事業	(100.0%)
B	事業	(0.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
進捗率 A	1事業	(50.0%)
B	1事業	(50.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

平均点	2.0
平均点	2.0
平均点	1.5
平均点	1.8

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 家庭、地域、保育施設、学校等と連携し引き続き子育てしやすい環境の整備に努める。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	1・1・2	評価担当課	子育て定住推進課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	健やかに子どもが育つ教育・保育環境の充実			○	-	○
目標	丸森町は子育てしやすいまちだと感じる保護者の割合					
現状と課題	全国的に、少子化対策は緊急の課題となっています。本町において、出生率は増加に転じていますが、全国平均等を下回る状況にあります。また、核家族化の進行や共働き世帯の増加などもあって、子育て家庭の環境は大きく変化しています。さらに、家庭や地域における子育て力の低下が懸念され、出産や子育てへの不安を抱く親も増加しています。 本町では、これまででも保育施設の新設や保育料・医療費の助成など、子育て支援施策の充実に努めてきました。その結果、平成23年以降、出生率が増加するなど一定の成果をあげていますが、より一層、住み慣れた地域で、安心して子どもを育てることができるよう、環境の整備や相談・支援体制の充実が求められています。				施策の内容	未来を担う子どもたちが、健やかに育ち、生きるために知恵と力を育んでいくことができるよう、家庭や地域と連携しながら充実した教育・保育環境を提供します。 「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、地域の実情に応じた教育・保育サービスを行います。

目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)		
保育所定員充足率	%	83.8	90.0	100.0	100.0	100.0	-	1.00	90.0	1.11		
			98.0	98.0	100.0	100.0	△	-				
認定子ども園施設数	箇所	1	2	2	2	2	-	1.00	2	1.00		
			2	2	2	2	△	-				
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI		単位	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)			
保育所定員充足率		%	83.8	90.0	100.0	100.0	100.0	-	1.00	90.0	1.11	
認定子ども園施設数				98.0	98.0	100.0	100.0	△	-			
構成事務事業の事業費合計(単位:千円)	構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)					
		362,566	412,808	388,004	397,062	469,292	442,227					

取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要	
今後の取組	「略」		

構成事務事業の評価結果

事業事業数	2	事業	
成果 A	2事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
コスト A	2事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
進捗率 A	2事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			2.0

次年度以降の方針 (主担当課)	拡充	[説明欄] 保護者のニーズや地域の実情を把握し、保育を必要とする児童が適切な保育サービスを受けられるよう、社会福祉協議会や放課後児童クラブ委託事業者と連携して保育環境の充実を図る。また、こども園等に入所している子どもの保育料・副食費を無償化し、保護者の経済的負担軽減を図る。
委員会評価	拡充	[委員会意見欄] 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	1・1・3	施策名	親が子どもとしっかり向き合える環境づくり	評価担当課	子育て定住推進課	総合戦略	行政経営	過疎
目標	丸森町は子育てしやすいまちだと感じる保護者の割合					-	-	○
現状と課題	<p>全国的に、少子化対策は緊急の課題となっています。本町において、出生率は増加に転じていますが、全国平均等を下回る状況にあります。また、核家族化の進行や共働き世帯の増加などもあって、子育て家庭の環境は大きく変化しています。さらに、家庭や地域における子育て力の低下が懸念され、出産や子育てへの不安を抱く親も増加しています。</p> <p>本町では、これまででも保育施設の新設や保育料・医療費の助成など、子育て支援施策の充実に努めてきました。その結果、平成23年以降、出生率が増加するなど一定の成果をあげていますが、より一層、住み慣れた地域で、安心して子どもを育てることができるよう、環境の整備や相談・支援体制の充実が求められています。</p>	施策の内容	若い世代が和やかな家庭を育み、子育てに対する喜びを実感し、自信をもってしっかりと子どもに向き合うことができるよう、町民ぐるみで未来の親を育成する体制を整えます。また、子育て中の親が孤立しないよう地域の交流を積極的に支援し、子育ての喜びを分かち合える環境づくりを推進します。					

目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)							計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)	
子育ての不安のある保護者の割合	%	50.0	40.0	40.0	40.0	40.0	-	0.78	40.0	0.78	
			13.6	46.0	57.0	31.0	/	-			
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)							計画目標値(令和6年度)	
合計特殊出生率	%	1.34	1.60	1.30	1.30	1.30	-	0.69	1.3	0.69	
			0.63	0.94	0.86	0.90	/	-			

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	526	2,783	28,936	25,301	16,620	20,667

取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要	
今後の取組	「略」		

構成事務事業の評価結果

事務事業数	5	事業	
成果 A	5事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
			平均点
コスト A	5事業	(100.0%)	2.0
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
進捗率 A	3事業	(60.0%)	
B	1事業	(20.0%)	平均点
C	1事業	(20.0%)	1.4
未実施	事業	(0.0%)	平均点
平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			1.8

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 引き続き、各事業を通じて把握した悩みや不安のある子育て家庭に寄り添った伴走支援を行い、安心して子育てができるように支援していく。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	1・1・4	評価担当課	保健福祉課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	子どもと家庭の健康を守る環境づくり				-	○
目標	丸森町は子育てしやすいまちだと感じる保護者の割合					
現状と課題	全国的に、少子化対策は緊急の課題となっています。本町において、出生率は増加に転じていますが、全国平均等を下回る状況にあります。また、核家族化の進行や共働き世帯の増加などもあって、子育て家庭の環境は大きく変化しています。さらに、家庭や地域における子育て力の低下が懸念され、出産や子育てへの不安を抱く親も増加しています。 本町では、これまで保育施設の新設や保育料・医療費の助成など、子育て支援施策の充実に努めてきました。その結果、平成23年以降、出生率が増加するなど一定の成果をあげていますが、より一層、住み慣れた地域で、安心して子どもを育てることができるよう、環境の整備や相談・支援体制の充実が求められています。				施策の内容	安心して子どもを産み、喜びと希望をもって子育てができる、すべての子どもが心身ともに健やかに成長できるよう、子どもの命と健康を守るために体制の充実を図ります。

目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
乳幼児健診において子どものことで心配がある保護者の割合	%	50.4	40.00	40.00	40.00	40.00	-	0.71	40.0	0.71
			23.75	24.75	20.79	28.42	△	-		
							△	#DIV/0!		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
乳幼児健診において子どものことで心配がある保護者の割合	%		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
		50.4	40.00	40.00	40.00	40.00	-	0.71	40.0	0.71
			23.75	24.75	20.79	28.42	△	-		
							△	#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	194,583	185,038	174,865	171,716	194,984	241,945

取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要	
今後の取組	「略」		

構成事務事業の評価結果

事務事業数	15	事業	平均点
成果 A	10事業	(66.7%)	
B	4事業	(26.7%)	
C	1事業	(6.7%)	
未実施	事業	(0.0%)	
コスト A	15事業	(100.0%)	平均点
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
進捗率 A	10事業	(66.7%)	平均点
B	4事業	(26.7%)	
C	1事業	(6.7%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】  妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない個々のニーズに応じた支援を充実するため、健診・相談等の支援体制の充実を図るとともに、医療費等の経済的支援を含めた子育てしやすい環境の充実を図る。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】  担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	1・2・1	評価担当課	学校教育課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	快適に学べる学校教育環境の整備充実			○	-	○
目標	全国学力・学習状況調査結果の向上 小学校や中学校の施設の整備・充実に満足している町民の割合					
現状と課題	本町の出生数は年間100人前後で推移していますが、子どもを取り巻く環境は複雑多様化しています。児童・生徒一人ひとりの基礎学力の向上に努めるとともに、個性を尊重し、適応力のあるたくましい心を育てる人間教育が強く求められています。 児童数の減少にともない、一部地域の小学校では地域全体で学校のあり方について検討を進めていく必要があります。令和4年4月に小学校2校に再編 家庭・学校・地域が密接に連携をとりながら、様々な社会経験やゆとりある家庭生活を通じて、豊かな人間形成に努めるとともに、「郷土愛」を育んでいくことが求められています。				施策の内容	授業にコンピュータを活用するなど、情報化社会に対応した教育の充実を図ります。また、安心・安全な学校給食の提供やスクールバス等による通学対策のほか、学校施設の老朽化対策や修繕を適正な管理のもとに実施し、より良い教育環境づくりを推進します。

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
ICTを活用した授業回数	回	2,066	3,000	3,000	5,700	6,500	-	1.29	3,000	2.80
			2,940	5,950	6,800	8,400	△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
ICTを活用した授業回数	回	2,066	3,000	3,000	5,700	6,500	-	1.29	3,000	2.80
			2,940	5,950	6,800	8,400	△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	239,732	200,356	157,343	184,212	307,058	221,013

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要	
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	11	事業	平均点
成果 A	11事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
コスト A	11事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
進捗率 A	9事業	(81.8%)	
B	2事業	(18.2%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

1.9

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 令和7年度から館矢間小学校体育館長寿命化工事の設計、令和8年度中に工事完了を目指す。また、全児童生徒に配付したタブレット端末が破損・劣化等の不具合がみられるため、令和7・8年度の2年度で共同調達に参加し、補助金を活用し更新を行う。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	1・2・2	評価担当課	学校教育課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	心豊かに学べる教育内容の充実				-	○
目標	全国学力・学習状況調査結果の向上					
	小学校や中学校の施設の整備・充実に満足している町民の割合					
現状と課題	本町の出生数は年間100人前後で推移していますが、子どもを取り巻く環境は複雑多様化しています。児童・生徒一人ひとりの基礎学力の向上に努めるとともに、個性を尊重し、適応力のあるたくましい心を育てる人間教育が強く求められています。 児童数の減少にともない、一部地域の小学校では地域全体で学校のあり方について検討を進めていく必要があります。令和4年4月に小学校2校に再編 家庭・学校・地域が密接に連携をとりながら、様々な社会経験やゆとりある家庭生活を通じて、豊かな人間形成に努めるとともに、「郷土愛」を育んでいくことが求められています。				施策の内容	

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
放課後学習支援実施学校の割合	%	25.0	100	100	100	77	-	0.43	100	0.33
			44	100	0	33	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
放課後学習支援実施学校の割合	%	25.0	100	100	100	77	-	0.43	100	0.33
			44	100	0	33	△	-		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	32,690	34,477	38,933	53,755	69,307	73,101

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	[ ] おおむね順調 [ ] いっそうの推進が必要 [ ] 抜本的に見直しや改善が必要		
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	20	事業	平均点
成果 A	10事業	(50.0%)	
B	7事業	(35.0%)	
C	3事業	(15.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.4
コスト A	14事業	(70.0%)	
B	6事業	(30.0%)	
C	事業	(0.0%)	1.7
未実施	事業	(0.0%)	
進捗率 A	12事業	(60.0%)	
B	7事業	(35.0%)	1.6
C	1事業	(5.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点
平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			1.5

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	[説明欄] 令和4年3月の学校再編以降、スクールバス利用の児童生徒が増えたため、以前のような放課後学習の実施が難しくなった。 令和7年度は各学校に意向を確認しながら実施について検討したい。
委員会評価	現状維持	[委員会意見欄] 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	1・2・3	評価担当課	学校教育課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	安心して学べる支援制度の充実			-	-	-
目標	全国学力・学習状況調査結果の向上 小学校や中学校の施設の整備・充実に満足している町民の割合					
現状と課題	本町の出生数は年間100人前後で推移していますが、子どもを取り巻く環境は複雑多様化しています。児童・生徒一人ひとりの基礎学力の向上に努めるとともに、個性を尊重し、適応力のあるたくましい心を育てる人間教育が強く求められています。 児童数の減少にともない、一部地域の小学校では地域全体で学校のあり方について検討を進めていく必要があります。令和4年4月に小学校2校に再編 家庭・学校・地域が密接に連携をとりながら、様々な社会経験やゆとりある家庭生活を通じて、豊かな人間形成に努めるとともに、「郷土愛」を育んでいくことが求められています。				施策の内容	児童・生徒への経済的支援を行うとともに地域や関係機関と連携し、防犯及び安全体制の充実を図ります。また、安心・安全な環境を作るとともに、健診等の実施により児童・生徒の良好な教育環境の充実に努めます。

目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
支援制度に対する保護者の満足度	%	-	75.0	75.0	75.0	75.0	-	1.00	90.0	0.83
			75.0	75.0	75.0	75.0	△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	27,982	28,625	23,224	23,673	24,540	27,522

取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要		
今後の取組	「略」		

構成事務事業の評価結果

事務事業数	10	事業	平均点
成果 A	8事業	(80.0%)	
B	2事業	(20.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.8
コスト A	7事業	(70.0%)	
B	3事業	(30.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.7
進捗率 A	6事業	(60.0%)	
B	4事業	(40.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点
平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			
			1.7

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	[説明欄] 児童生徒や教職員の健康・安全を確保していくとともに、各種給付事業について周知徹底を図り、適切に給付を行うことによって保護者の経済的負担の軽減に努める。また、心のケアハウス事業については、支援員が学校や関係機関と連携を取りながら、不登校児童生徒への学校支援等を行っていく。
委員会評価	現状維持	[委員会意見欄] 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	1・3・1	評価担当課	生涯学習課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	まちづくりを担う人材育成・活用			○	-	○
目標	生涯学習の機会や関連情報の提供に満足している町民の割合					
現状と課題	本町では、「生涯学習は人づくり」を基本に行政が行う事業のほか、各地区の住民自治組織が主体となり様々な生涯学習活動が展開されています。 近年、人々の価値観の多様化や情報化的進展などによって、町民の学習意欲や知的好奇心が強まっていることから、人々が、自動的に学び、潤いと生きがいのある生活を送ることができます。 女性が職場や家庭・地域等の様々な分野において、個性と能力を十分に発揮し、輝くことができる社会づくりを一層進める必要があります。				施策の内容	ふるさとの歴史や文化を学ぶ機会や情報の提供、各種講座の開催等により、指導者やリーダーを育成します。また、男女共同参画社会の形成を推進し、女性の社会進出を促します。

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
研修参加者数	人	674	200	475	475	475	-	0.81	750	0.51
			175	391	459	384	△	-		
各種講座参加者数	人	1,185	400	500	730	1,135	-	0.80	1,600	0.57
			253	786	1,003	908	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
研修参加者数	人	674	200	475	475	475	-	0.81	750	0.51
			175	391	459	384	△	-		
各種講座参加者数	人	1,185	400	500	730	1,135	-	0.80	1,600	0.57
			253	786	1,003	908	△	-		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	4,464	4,738	3,687	4,420	3,332	5,155

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	[ ] おおむね順調 [ ] いっそうの推進が必要 [ ] 扱本的に見直しや改善が必要		
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	11	事業	
成果 A	4事業	(36.4%)	平均点
B	4事業	(36.4%)	
C	3事業	(27.3%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.1
コスト A	8事業	(72.7%)	
B	3事業	(27.3%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.7
進捗率 A	4事業	(36.4%)	
B	4事業	(36.4%)	
C	3事業	(27.3%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点
平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			1.1

次年度以降の方針 (主担当課)	見直しのうえ継続	[説明欄]
		様々な年代を対象とした講座等が多くあるため、参加者が増加するようニーズの把握に努め、魅力ある事業を実施する。各種支援団体における会員数減少などの課題を整理し、適切な指導・助言を行っていく。
委員会評価	見直しのうえ継続	[委員会意見欄] 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	1・3・2	評価担当課	生涯学習課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	いきいき学べる生涯学習環境の充実			-	-	○
目標	生涯学習の機会や関連情報の提供に満足している町民の割合					
現状と課題	本町では、「生涯学習は人づくり」を基本に行政が行う事業のほか、各地区の住民自治組織が主体となり様々な生涯学習活動が展開されています。 近年、人々の価値観の多様化や情報化的進展などによって、町民の学習意欲や知的好奇心が強まっていることから、人々が、自動的に学び、潤いと生きがいのある生活を送ることができます。 女性が職場や家庭・地域等の様々な分野において、個性と能力を十分に発揮し、輝くことができる社会づくりを一層進める必要があります。				施策の内容	町民の誰もが生涯を通じて、いつでも、どこでも学ぶことができる、その成果を活かすことができる学習環境を整備するとともに、学校・家庭・地域が協働で生涯学習を推進する体制を整備します。また、幼少期から本にふれる機会を提供し、読書活動を推進します。

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
出前講座参加者数	人	2,020	3,000	3,000	1,000	1,000	-	0.77	3,000	0.26
			449	565	981	766	△	-		
図書貸出冊数	冊	4,383	3,000	3,000	3,300	5,000	-	1.09	5,000	1.09
			2,380	3,257	4,957	5,442	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	6,652	5,945	5,919	9,396	14,131	14,836

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要	
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	3	事業	平均点
成果 A	事業	(0.0%)	
B	2事業	(66.7%)	
C	1事業	(33.3%)	
未実施	事業	(0.0%)	
コスト A	1事業	(33.3%)	平均点
B	2事業	(66.7%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
進捗率 A	1事業	(33.3%)	平均点
B	事業	(0.0%)	
C	2事業	(66.7%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

0.9

次年度以降の方針 (主担当課)	見直しのうえ継続	【説明欄】 R4年度より利用者数は増えているが、出前講座などは昨年と比べて減少している。気軽に学べる環境を今後も整えるとともに周知の方法を考え直す必要がある。
委員会評価	見直しのうえ継続	【委員会意見欄】 担当課意見のとおり。

# 施 策 評 価 表

令和6年度分

施策コード	1・4・1	評価担当課	生涯学習課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	レクリエーションスポーツ活動の推進			-	-	-
目標	スポーツ関連事業、各種大会の内容等に満足している割合					
現状と課題	<p>ライフスタイルの変化や健康志向の高まりから、スポーツ・レクリエーションに対する関心が高まり、ニーズも多様化しています。</p> <p>本町では、各種施設の維持管理を進めながら、健康や体力づくりに関連した事業を定期的に開催し、町民の健康づくりの機会を創出してきました。なかでも、「丸森ウォークラン大会」、「サイクリングスタ丸森」は、レクリエーションスポーツとして浸透しており、「丸森町健康まつり」も定期的に開催しています。</p> <p>スポーツは、心身の健全な発達に役立つだけではなく、地域社会の中で交流の場となり、連帯意識の向上につながる機会もあります。これまで行ってきたスポーツ・レクリエーションの取組みを継承しつつ、町民が自分にあったスポーツを日常生活の中で取り組めるような環境づくりが必要です。</p>					誰もが気軽にスポーツを楽しめるように、レクリエーションスポーツ、ニュースポーツを広く普及し、健康づくり、生きがいづくり、地域コミュニティづくりを進めます。

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
ニュースポーツ事業参加者数	人	671	300	400	600	600	-	1.00	800	0.75
			272	332	548	597	/	-		#DIV/0!
							-	#DIV/0!		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							-	#DIV/0!		#DIV/0!
							/	-		#DIV/0!
							-	#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	323	518	541	416	373	469

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	1	事業
成果 A	1事業	(100.0%)
B	事業	(0.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
コスト A	事業	(0.0%)
B	1事業	(100.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
進捗率 A	1事業	(100.0%)
B	事業	(0.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】
		各住民自治組織でニュースポーツを使った生涯学習事業を実施していることから、競技人口の増加を見込んでいる。また、健康まつりの室内競技となったニュースポーツが体験競技から得点競技に切り替わったことで、積極的に取組む町民が増えることが期待される。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】
		担当課意見のとおり。

# 施 策 評 価 表

令和6年度分

施策コード	1・4・2	評価担当課	生涯学習課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	スポーツの振興			-	-	○
目標	スポーツ関連事業、各種大会の内容等に満足している割合					
現状と課題	<p>ライフスタイルの変化や健康志向の高まりから、スポーツ・レクリエーションに対する関心が高まり、ニーズも多様化しています。</p> <p>本町では、各種施設の維持管理を進めながら、健康や体力づくりに関連した事業を定期的に開催し、市民の健康づくりの機会を創出してきました。なかでも、「丸森ウォークマラソン大会」、「サイクリングフェスティバル」は、レクリエーションスポーツとして浸透しており、「丸森町健康まつり」も定期的に開催しています。</p> <p>スポーツは、心身の健全な発達に役立つだけではなく、地域社会の中で交流の場となり、連帯意識の向上につながる機会もあります。これまで行ってきたスポーツ・レクリエーションの取組みを継承しつつ、市民が自分にあったスポーツを日常生活の中で取り組めるような環境づくりが必要です。</p>				施策の内容	

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
スポーツ事業参加者数	人	1,068	300	300	600	800	-	0.87	1,700	0.41
			225	518	640	697	△	-		
スポーツ推進委員活動延人数	人	86	50	50	60	60	-	0.70	100	0.42
			37	53	32	42	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							-	#DIV/0!		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!
							-	#DIV/0!		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	357	528	1,089	1,048	1,476	2,509

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<p>[ ] おおむね順調</p> <p>[ ] いっそうの推進が必要</p> <p>[ ] 扱本的に見直しや改善が必要</p>		
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	2	事業	平均点
成果 A	事業	(0.0%)	
B	2事業	(100.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.5
コスト A	1事業	(50.0%)	
B	1事業	(50.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.5
進捗率 A	1事業	(50.0%)	
B	1事業	(50.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

1.3

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】
		年に3回する健康まつりをはじめ様々な社会体育イベントを実施することで、市民に運動の機会を提供していくとともに、社会体育施設等の適正な維持管理に努める。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】
		担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	1・5・1	評価担当課	生涯学習課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	文化財の保存活用と地域文化の保存継承			-	-	○
目標	地域の歴史や文化、伝統継承への取組みに満足している町民の割合				施策の内容	
現状と課題	本町は、阿武隈川舟運の拠点として栄え、郷土の歴史を語る貴重な文化財が豊富にあります。このほか、地織り・わら細工・竹細工等の生活に密着した伝統的技術も残されています。これらは、適切に保存・伝承されており、「まるもりふるさと館」では、先人が築いた歴史や文化遺産の展示を通じて、郷土文化の継承と普及に貢献しています。 地域の歴史・文化は、その地域の貴重な財産です。今後も伝統文化を継承していくとともに、町民に貴重な資源として認識してもらい、まちづくりに積極的に活用していくことが必要です。 町民は生活の中でのゆとりや潤いを求めるようになり、芸術や文化へ関心も高まってきています。本町では、毎年「総合文化祭」や「芸能発表大会」、「民俗芸能鑑賞のつどい」などが開催され、町民の芸術文化の発表の場となっているほか、文化団体の活動も活発に行われています。				地域の歴史・文化の保存と活用を図るために、貴重な地域資源や文化財の発掘保存に努めるとともに、伝統文化の継承と後継者の養成を図ります。活用が可能な文化財については、町民の歴史学習により郷土愛を育み、地域の活性化に活かします。	

目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
まるもりふるさと館来館者数	人	843	1,000	1,000	1,000	1,000	-	0.89	1,500	0.59
		696	864	1,016	889			-		
文化財研修参加数	人	119	40	90	120	150	-	0.77	150	0.77
		21	121	130	115			-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
								-	#DIV/0!	#DIV/0!
								-	#DIV/0!	#DIV/0!
								-	#DIV/0!	#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	7,734	5,941	6,241	5,200	7,427	13,177

取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	[ ] おおむね順調 [ ] いっそうの推進が必要 [ ] 抜本的に見直しや改善が必要		
今後の取組	「略」		

構成事務事業の評価結果

事業事業数	5	事業	平均点
成果 A	2事業	(40.0%)	
B	2事業	(40.0%)	
C	1事業	(20.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.2
コスト A	4事業	(80.0%)	
B	1事業	(20.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.8
進捗率 A	1事業	(20.0%)	
B	3事業	(60.0%)	
C	1事業	(20.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点
平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			
			1.3

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	[説明欄] 文化財の管理は適正に行われており、次年度以降も同様に管理していく。
委員会評価	現状維持	[委員会意見欄] 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	1・5・2	評価担当課	生涯学習課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	芸術文化の振興			-	-	○
目標	地域の歴史や文化、伝統継承への取組みに満足している町民の割合				施策の内容	
現状と課題	本町は、阿武隈川舟運の拠点として栄え、郷土の歴史を語る貴重な文化財が豊富にあります。このほか、地織り・わら細工・竹細工等の生活に密着した伝統的技術も残されています。これらは、適切に保存・伝承されており、「まるもりふるさと館」では、先人が築いた歴史や文化遺産の展示を通じて、郷土文化の継承と普及に貢献しています。 地域の歴史・文化は、その地域の貴重な財産です。今後も伝統文化を継承していくとともに、町民に貴重な資源として認識してもらい、まちづくりに積極的に活用していくことが必要です。 町民は生活の中でのゆとりや潤いを求めるようになり、芸術や文化へ関心も高まってきています。本町では、毎年「総合文化祭」や「芸能発表大会」、「民俗芸能鑑賞のつどい」などが開催され、町民の芸術文化の発表の場となっているほか、文化団体の活動も活発に行われています。				美術や演劇、音楽等の優れた芸術文化を身近に体験・鑑賞する機会を提供し、感性豊かな町民を育成します。また、芸術文化活動を行っている人たちの発表や広域的な交流を支援し、さらなる学習意欲向上を促します。	

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
芸術鑑賞参加者数	人	292	60	100	100	100	-	1.87	400	0.47
			71	94	255	187	△	-		
総合文化祭出品数	点	498	300	300	300	300	-	1.13	650	0.52
			0	274	265	340	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	309	121	121	308	132	132

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要		
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	1	事業	平均点
成果 A	1事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
コスト A	1事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
進捗率 A	1事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

2.0

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	[説明欄]
		十分な成果をだしてはいるが、より多くの方に芸術文化に触れていただけるよう、周知や企画を考える。
委員会評価	現状維持	[委員会意見欄]

担当課意見のとおり。

# 施 策 評 価 表

令和6年度分

施策コード	2-1-1	評価担当課	保健福祉課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	健康づくりの充実				-	○
目標	健康診断や健康・体力づくり対策に満足している町民の割合 病院や診療所など医療施設の充実に満足している町民の割合					
現状と課題	<p>ライフスタイルの変化による不適切な食生活や運動不足、ストレスなどによって生活習慣病の要因となるメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)が増加傾向にあります。また、高齢になり脳卒中や認知症などを発症することによって、要介護者が年々増加しています。その対策として、町民誰もができるかぎり身どもに健康で自立した生活を送るために、生活習慣病を予防し、健康寿命の延伸を図ることが重要な課題となっています。</p> <p>本町の医療は、「国民健康保険丸森病院」のほか、民間医療機関が地域の1次医療を担う施設として機能しています。また、一部の山間地域においては、診療所を設けて定期的に診療を行っています。</p> <p>「医療施設の充実」や「休日や夜間診療体制」は、町民ニーズが高いものになっています。</p> <p>近年、急激な高齢化や生活習慣病などによって、医療機関の受診者や救急患者が増加していることから、「国民健康保険丸森病院」の充実や、民間医療機関との連携を引き続き行っていくとともに、町民に身近な医療サービスの提供に向けて、休日や夜間、そして災害における救急医療を含む地域医療体制の整備充実を図るため、広域的な連携強化が求められています。</p>				施策の内容	疾病を予防するための予防接種や疾病の早期発見・早期治療に向けた各種の健診(検診)を実施するとともに、健康リーダーや関係団体との協働により地域での健康教室や健康相談などに積極的に取り組んでいくことで、地域ぐるみでの健康づくりを推進します。

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
平均寿命と健康寿命の差(不健康な期間)	年[男]	1.58	1.40	1.40	1.40	1.40	-	1.14	1.30	1.22
			1.72	1.72	1.74	1.59	△	-		
平均寿命と健康寿命の差(不健康な期間)	年[女]	3.66	3.50	3.50	3.50	3.50	-	0.98	3.40	1.01
			4.12	3.99	3.76	3.42	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
平均寿命と健康寿命の差(不健康な期間)	年[男]	1.58	1.40	1.40	1.40	1.40	-	1.14	1.30	1.22
			1.72	1.72	1.74	1.59	△	-		
平均寿命と健康寿命の差(不健康な期間)	年[女]	3.66	3.50	3.50	3.50	3.50	-	0.98	3.40	1.01
			4.12	3.99	3.76	3.42	△	-		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	84,537	216,302	185,527	147,407	118,501	128,487

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<p>[ ] おおむね順調</p> <p>[ ] いっそうの推進が必要</p> <p>[ ] 抜本的に見直しや改善が必要</p>		
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	17	事業	平均点
成果 A	4事業	(23.5%)	
B	10事業	(58.8%)	
C	1事業	(5.9%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.2
コスト A	5事業	(29.4%)	
B	9事業	(52.9%)	
C	1事業	(5.9%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.3
進歩率 A	4事業	(23.5%)	
B	10事業	(58.8%)	
C	1事業	(5.9%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.2

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	【説明欄】 検診未受診者、予防接種未接種者への啓発・周知を行い、受診率、接種率の向上を図るとともに、健康寿命の延伸を図るために、健康増進並びに生活習慣病の予防に向けた各種の健康づくり施策を実施していく。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課意見とのおり。

# 施 策 評 価 表

令和6年度分

施策コード	2・1・2	評価担当課	保健福祉課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	保健・医療体制の充実			-	-	○
目標	健康診断や健康・体力づくり対策に満足している町民の割合 病院や診療所など医療施設の充実に満足している町民の割合					
現状と課題	<p>ライフスタイルの変化による不適切な食生活や運動不足、ストレスなどによって生活習慣病の要因となるメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)が増加傾向にあります。また、高齢になり脳卒中や認知症などを発症することによって、要介護者が年々増加しています。その対策として、町民誰もができるかぎり心身ともに健康で自立した生活を送るために、生活習慣病を予防し、健康寿命の延伸を図ることが重要な課題となっています。</p> <p>本町の医療は、「国民健康保険丸森病院」のほか、民間医療機関が地域の1次医療を担う施設として機能しています。また、一部の山間地域においては、診療所を設けて定期的に診療を行っています。</p> <p>近年、急激な高齢化や生活習慣病などによって、医療機関の受診者や救急患者が増加していることから、「国民健康保険丸森病院」の充実や、民間医療機関との連携を引き続き行っていくとともに、町民に身近な医療サービスの提供に向けて、休日や夜間、そして災害における救急医療を含む地域医療体制の整備充実を図るため、広域的な連携強化が求められています。</p>				健康づくりの推進施設である「保健センター」について年間を通して活用できるよう適正な管理運営を行うとともに、様々な健康づくり活動の支援に向けた環境整備を進め、健康づくりのための支援を推進します。また、本町医療の中心施設である「国民健康保険丸森病院」の診療機能の維持向上を図りながら、仙南地域の医療・介護施設との連携を強化し、地域医療体制の整備を推進します。	

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
休日当番医実施日数	日	70	70	70	70	70	-	1.01	70	1.01
			72	72	67	71	△	-		
丸森町保健センター開所日数	日	248	246	248	246	248	-	1.00	248	1.00
			246	248	246	248	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	138,895	89,501	104,166	146,026	1,248,394	189,470

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<p>[ ] おおむね順調</p> <p>[ ] いっそうの推進が必要</p> <p>[ ] 抜本的に見直しや改善が必要</p>		
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事業事業数	5	事業
成果 A	3事業	(60.0%)
B	1事業	(20.0%)
C	1事業	(20.0%)
未実施	事業	(0.0%)
<hr/>		
コスト A	4事業	(80.0%)
B	1事業	(20.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
<hr/>		
進捗率 A	3事業	(60.0%)
B	2事業	(40.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
<hr/>		

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

平均点 1.4

平均点 1.8

平均点 1.6

平均点 1.6

次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	[説明欄] 救急医療等の安定的確保のため、仙南他市町との連携及び医師会、歯科医師会、医療機関等の協力し、医療体制の充実を図る。また、健康づくり事業等の活動拠点となる保健センターについて、引き続き年間を通じて活用できるよう適切な維持管理運営を行う。
委員会評価	現状維持	[委員会意見欄] 担当課意見のとおり。

# 施 策 評 価 表

令和6年度分

施策コード	2-2-1	評価担当課	保健福祉課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	元気と生きがいづくりを応援する体制の充実			-	-	○
目標	元気高齢者の割合					
現状と課題	本町は、年少人口の減少と高齢者人口の増加が進んでおり、高齢者人口の割合(平成22年国勢調査)は国(23.0%)や宮城県(22.3%)よりも高(3割以上)を占め、老若に介護や社会が運営を行っています。少子高齢化や生活様式の多様化などにより、高齢者の増加や地域コミュニティの希薄化が進み、家庭や地域における介護力の低下が懸念されています。それによって、地域での孤立化や緊急時の対応、将来の生活など、不安を抱える高齢者が増えています。高齢化の進行に伴い、日常生活を送る上で様々な支援が必要とする高齢者の増加が予測されるごとから、住み慣れた地域で安心して生活を続けることができるようするために、医療・介護・予防・住まい・生活支援を総合的に提供する「地域包括ケアシステム」を構築する必要があります。高齢者が社会参加や生きがいなどを求めており、地域や社会活動への参加意識が高まっています。こういった高齢者の志向やニーズを踏まえ、活動の機会を提供していくことが望まれます。	施策の内容	高齢者の健診を行うとともに、介護や支援が必要とならないよう介護予防のための教室等を開催し、健康の維持増進を図ります。また、高齢者の創作活動の拠点施設である「高齢者生産活動センター」の運営や就業と生きがい活動への支援を行うことにより、高齢者の積極的な社会参加による生きがいづくりを推進します。			

目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
丸森町シルバー人材センター会員数	人	157	170	170	170	170	-	0.95	165	0.98
		153	165	163	162			-	#DIV/0!	#DIV/0!
							-			
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							-	#DIV/0!		#DIV/0!
								-		
							-	#DIV/0!		#DIV/0!
								-		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	34,873	37,784	36,392	38,383	37,831	44,767

取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」	
	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要
今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業数	6	事業
成果 A	3事業	(50.0%)
B	3事業	(50.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
コスト A	2事業	(33.3%)
B	4事業	(66.7%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
進捗率 A	3事業	(50.0%)
B	3事業	(50.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】
		高齢者の各種健診等について、啓発活動・広報に努め、受診率の向上による疾病の早期発見・早期治療につなげる。 一般介護予防については、高齢者が介護予防の必要性を理解し、継続的に取り組むことができる事業を検討する。 シルバー人材センターについては、会員確保のための募集等について支援する。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】
		担当課意見のとおり。

# 施 策 評 価 表

令和6年度分

施策コード	2-2-2	評価担当課	保健福祉課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	安心な生活をかなえる支援の充実			○	-	○
目標	元気高齢者の割合					
現状と課題	<p>本町は、年少人口の減少と高齢者人口の増加が進んでおり、高齢者人口の割合(平成22年国勢調査)は国(23.0%)や宮城県(22.3%)よりも高く3割以上を占め、着実に少子高齢社会が進行しています。</p> <p>少子高齢化や生活様式の多様化などによって、ひとり暮らし高齢者の増加や地域コミュニティの希薄化が進み、家庭や地域における介護力の低下が懸念されています。それによって、地域での孤立化や緊急時の対応、将来の生活など、不安を抱える高齢者が増えています。</p> <p>高齢化の進行に伴い、日常生活を送る上で様々な支援を必要とする高齢者の増加が予測されることから、住み慣れた地域で安心して生活を続けることができるようになりますため、医療・介護・予防・住まい・生活支援を総合的に提供する「地域包括ケアシステム」を構築する必要があります。</p> <p>高齢者が社会参加や生きがいなどを求めたり、地域や社会活動への参加意欲が高まっています。こういった高齢者の志向やニーズを踏まえ、活動の機会を提供していくことが望まれます。</p>	施策の内容	支援を必要とする高齢者に対し、一人ひとりの状態を踏まえた最適なサービスを提供するとともに、生活機能を維持・向上させるための介護予防に関するプログラムや生活上の不安を解消するための相談、そして家族への支援活動等に積極的に取組み、地域における安心した生活の実現を目指します。			

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
新規の要介護認定者の平均年齢	歳	83.4	84.2	84.3	84.4	84.5	-	0.98	84.5	0.98
			83.5	83.6	83.4	83.0	△	-		
要介護認定者中の認知症発症者に占める軽度者(ランク 以下)の割合	%	58.0	63.0	63.0	63.0	63.0	-	1.11	63.0	1.11
			65.8	67.2	68.7	69.7	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
新規の要介護認定者の平均年齢	歳	83.4	84.2	84.3	84.4	84.5	-	0.98	84.5	0.98
			83.5	83.6	83.4	83.0	△	-		
要介護認定者中の認知症発症者に占める軽度者(ランク 以下)の割合	%	58.0	63.0	63.0	63.0	63.0	-	1.11	63.0	1.11
			65.8	67.2	68.7	69.7	△	-		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	75,221	67,977	66,075	61,331	82,971	102,734

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<p>[ ] おおむね順調</p> <p>[ ] いっそうの推進が必要</p> <p>[ ] 抜本的に見直しや改善が必要</p>		
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	11	事業	平均点
成果 A	4事業	(36.4%)	
B	5事業	(45.5%)	
C	2事業	(18.2%)	
未実施	事業	(0.0%)	
コスト A	9事業	(81.8%)	平均点
B	1事業	(9.1%)	
C	1事業	(9.1%)	
未実施	事業	(0.0%)	
進歩率 A	7事業	(63.6%)	平均点
B	4事業	(36.4%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

1.5

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 支援を必要とする高齢者等に対し、一人ひとりの状態に応じた適切な支援を胎教することにより、できる限り自立し、安心して生活できるよう事業を推進していく。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課意見とのおり。

# 施 策 評 価 表

令和6年度分

施策コード	2-2-3	評価担当課	保健福祉課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	サービスの総合的推進体制の充実			○	-	
目標	元気高齢者の割合					
現状と課題	<p>本町は、年少人口の減少と高齢者人口の増加が進んでおり、高齢者人口の割合(平成22年国勢調査)は国(23.0%)や宮城県(22.3%)よりも高く3割以上を占め、着実に少子高齢社会が進行しています。</p> <p>少子高齢化や生活様式の多様化などによって、ひとり暮らし高齢者の増加や地域コミュニティの希薄化が進み、家庭や地域における介護力の低下が懸念されています。それに伴って、地域での孤立化や緊急時の対応、将来の生活など、不安を抱える高齢者が増えています。</p> <p>高齢化の進行に伴い、日常生活を送る上で様々な支援を必要とする高齢者の増加が予測されることから、住み慣れた地域で安心して生活を続けることができるようになりますため、医療・介護・予防・住まい・生活支援を総合的に提供する「地域包括ケアシステム」を構築する必要があります。</p> <p>高齢者が社会参加や生きがいなどを求めたり、地域や社会活動への参加意欲が高まっています。こういった高齢者の志向やニーズを踏まえ、活動の機会を提供していくことが望まれます。</p>				施策の内容	行政をはじめとする関係者間の連携・協力のもと、支援を必要とする高齢者に適切なサービスを継続して提供していくための仕組みである「地域包括ケアシステム」を構築して適切に運営することにより、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活するための体制整備を推進します。

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
地域ケア会議開催回数	回	11	13	10	10	22	-	0.32	22	0.32
		7	6	10	7			-		
								-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
			11	13	10	10	22	-	0.32	22
地域ケア会議開催回数	回	7	6	10	7			-	#DIV/0!	#DIV/0!
								-		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	3,942	4,882	11,422	5,898	6,112	8,155

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」
施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要
今後の取組	「略」

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	4	事業
成果 A	3事業	(75.0%)
B	1事業	(25.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
コスト A	4事業	(100.0%)
B	事業	(0.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
進捗率 A	2事業	(50.0%)
B	2事業	(50.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	[説明欄] 第9期介護保険事業計画を踏まえ、地域包括ケアシステムの深化・推進に向けて関係機関が連携し、高齢者等に必要な支援を提供できる体制整備を行う。
委員会評価	現状維持	[委員会意見欄] 担当課意見のとおり。

# 施 策 評 価 表

令和6年度分

施策コード	2-3-1	評価担当課	保健福祉課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	障がい者の生活支援の充実			-	-	○
目標	障がい者やボランティア活動の福祉サービスに満足している町民の割合					
現状と課題	<p>障がい福祉サービスは、平成18年4月以降、それまでの障がい種別ごとの提供から障がい種別に関係なく提供される共通のサービスに変わりました。それによって、障がいを持った方を取り巻く社会情勢や環境は大きく変化していることから、多様な施策展開を進め細かな支援が必要になっています。</p> <p>町内において福祉活動を行っている団体等には、その中心的役割を担っている「民生委員児童委員」や「丸森町社会福祉協議会」をはじめ、住民自治組織、老人クラブ、ボランティア組織などがありますが、情報共有や相互連携が十分でない状況にあります。</p> <p>今後は、障がいを持った方が豊かに暮らすことのできる地域社会の実現に向けて、多様化するニーズに対応し、地域ぐるみで支え合っていくための関係する機関や団体間の協力体制の整備が求められています。</p>				障がい者が生活・療養する上で必要となる様々なサービスの提供や経済面での支援を行うとともに、関係する機関や各種団体との連携による各種の情報提供や相談等の活動を通して、障がい者が地域で安心して暮らすための支援を推進します。	

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
福祉施設利用者中一般就労に移行した障がい者数	人	0	3	3	3	1	-	1.00	4	0.25
			1	0	1	1	△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	383,285	402,235	414,400	445,206	482,148	518,035

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」	
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要
今後の取組	「略」	

## 構成事務事業の評価結果

事業事業数	7	事業	平均点
成果 A	6事業	(85.7%)	
B	1事業	(14.3%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
コスト A	7事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.9
進捗率 A	6事業	(85.7%)	
B	1事業	(14.3%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	[説明欄]
		障害者が生活する上で必要となる各種サービスを提供し、併せて経済的支援や家族の負担軽減を図るとともに、引き続き関係機関等と連携して、障害があっても住み慣れた地域で安心して暮らせるように支援していく。
委員会評価	現状維持	[委員会意見欄] 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	2-3-2	評価担当課	保健福祉課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	地域福祉活動の支援			-	-	○
目標	障がい者やボランティア活動の福祉サービスに満足している町民の割合					
現状と課題	<p>障がい福祉サービスは、平成18年4月以降、それまでの障がい種別ごとの提供から障がい種別に関する提供される共通のサービスに変わりました。それによって、障がいを持った方を取り巻く社会情勢や環境は大きく変化していることから、多様な施策展開ときめ細かな支援が必要になっています。</p> <p>町内において福祉活動を行っている団体等には、その中心的役割を担っている「民生委員児童委員」や「丸森町社会福祉協議会」をはじめ、住民自治組織、老人クラブ、ボランティア組織などがありますが、情報共有や相互連携が十分でない状況にあります。</p> <p>今後は、障がいを持った方が豊かに暮らすことのできる地域社会の実現に向けて、多様化するニーズに対応し、地域ぐるみで支え合っていくための関係する機関や団体間の協力体制の整備が求められています。</p>				施策の内容	
					地域福祉の担い手である社会福祉団体やボランティア組織等の多種・多岐にわたる活動を様々な面からサポートし、住民の積極的な参加による地域社会の醸成を進めます。	

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
ボランティア連絡会登録団体数	団体	24	26	26	23	27	-	0.74	27	0.74
			25	17	18	20	△	-		
ボランティア連絡会登録会員数	人	526	610	610	344	650	-	0.53	650	0.53
			476	280	399	342	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	52,024	49,056	54,806	51,397	54,644	58,943

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<p>[ ]おおむね順調</p> <p>[ ]いっそうの推進が必要</p> <p>[ ]抜本的に見直しや改善が必要</p>		
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	51	事業	平均点
成果 A	1事業	(2.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
コスト A	1事業	(2.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
進捗率 A	1事業	(2.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

2.0

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 地域福祉の担い手である社会福祉団体やボランティア組織等の活動を引き続き支援し、自主的活動の推進を目指していく。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	2・4・1	評価担当課	町民税務課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	国民健康保険の健全な運営			-	-	-
目標	安心して社会保障を受けられていると感じている人の割合					
現状と課題	医療保険や介護保険、年金といった社会保障制度は、町民誰もが不安を感じることなく生活するための基盤となることから、常に安定した制度運営を行う必要があります。 国民健康保険、後期高齢者医療及び介護保険の運営における財源及び公平性の確保のため、保険税等の滞納が生じないよう収納対策の推進が求められています。 本町では、現年度課税分の収納率が前年度水準を維持できるよう、収納特別対策本部を設置して訪問・督促などの徴収活動を実施するとともに、滞納者に対しては、税務署や県税事務所などと連携して差押などの法的手段を講じながら滞納額の解消に努めており、今後も徴収活動を強化しながら収納対策を継続していく必要があります。				施策の内容 国民健康保険制度についての住民理解を深めるとともに、適正な医療費等の給付や確実な国民健康保険税の賦課・徴収に取組み、国民健康保険事業の安定した運営を行います。	

目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
国民健康保険税収納率(現年度分)	%	95.3	96.0	96.0	96.0	96.0	-	1.00	96.5	0.99
			97.9	97.7	97.5	95.9	△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	1,307,590	1,326,185	1,276,866	1,368,135	1,602,591	1,677,456

取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調 <input checked="" type="checkbox"/> いっそうの推進が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 扱本的に見直しや改善が必要		
今後の取組	「略」		

構成事務事業の評価結果

事業事業数	4	事業	平均点
成果 A	3事業	(75.0%)	
B	1事業	(25.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
コスト A	4事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.8
進捗率 A	3事業	(75.0%)	
B	1事業	(25.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	[説明欄]
		・引き続き公正に審査を行い、適正に事務手続きを行う。 ・被保険者への保険給付等を円滑に実施するとともに、生活習慣病の発症や重症化の予防につながる保健事業の推進等により医療費の適正化に努める。
委員会評価	現状維持	[委員会意見欄]
		担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	2-4-2	評価担当課	町民税務課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	後期高齢者医療の健全な運営			-	-	-
目標	安心して社会保障を受けられていると感じている人の割合					
現状と課題	医療保険や介護保険、年金といった社会保障制度は、町民誰もが不安を感じることなく生活するための基盤となることから、常に安定した制度運営を行う必要があります。 国民健康保険、後期高齢者医療及び介護保険の運営における財源及び公平性の確保のため、保険税等の滞納が生じないよう収納対策の推進が求められています。 本町では、現年度課税分の収納率が前年度水準を維持できるよう、収納特別対策本部を設置して訪問・督促などの徴収活動を実施するとともに、滞納者に対しては、税務署や県税事務所などと連携して差押などの法的手段を講じながら滞納額の解消に努めており、今後も徴収活動を強化しながら収納対策を継続していく必要があります。				「宮城県後期高齢者医療広域連合」との連携・協力により、後期高齢者の健康保持と適切な医療の確保に努めるとともに、後期高齢者医療保険料の適正な賦課・徴収に取組み、後期高齢者医療の安定した運営を行います。	

目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
後期高齢者医療保険料収納率(現年度分)	%	99.9	99.9	99.9	99.9	100.0	-	1.00	100	1.00
			100.0	99.9	99.7	99.7	△	-		
							△	#DIV/0!		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	#DIV/0!		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!
							△	#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	1,684	1,529	2,572	1,527	389,594	409,190

取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<input type="checkbox"/> おおむね順調 <input type="checkbox"/> いっそうの推進が必要 <input type="checkbox"/> 扱本的に見直しや改善が必要		
今後の取組	「略」		

構成事務事業の評価結果

事業事業数	5	事業	平均点
成果 A	4事業	(80.0%)	
B	1事業	(20.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.8
コスト A	4事業	(80.0%)	
B	1事業	(20.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.8
進捗率 A	5事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			
			1.9

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	[説明欄] 引き続き、宮城県後期高齢者医療広域連合と連携・協力し、保険料の適正賦課及び収納並びに迅速な還付処理に努める。
委員会評価	現状維持	[委員会意見欄] 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	2-4-3	評価担当課	町民税務課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	介護保険の健全な運営			-	-	-
目標	安心して社会保障を受けられると感じている人の割合					
現状と課題	医療保険や介護保険、年金といった社会保障制度は、町民誰もが不安を感じることなく生活するための基盤となることから、常に安定した制度運営を行う必要があります。 国民健康保険、後期高齢者医療及び介護保険の運営における財源及び公平性の確保のため、保険料等の滞納が生じないよう収納対策の推進が求められています。 本町では、現年度課税分の収納率が前年度水準を維持できるよう、収納特別対策本部を設置して訪問・督促などの徴収活動を実施するとともに、滞納者に対しては、税務署や県税事務所などと連携して差押などの法的手段を講じながら滞納額の解消に努めており、今後も徴収活動を強化しながら収納対策を継続していく必要があります。				施策の内容	介護保険制度についての住民理解を深めるとともに、適正な介護給付費等の給付や確実な介護保険料の賦課・徴収に取組み、介護保険事業の安定した運営を行います。

目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
介護保険料収納率(現年度分)	%	99.7	99.8	99.8	99.8	100.0	-	1.00	100	1.00
			99.9	99.7	99.7	99.7	△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	1,966,223	1,919,501	1,799,863	1,796,109	1,738,219	1,840,853

取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	[ ] おおむね順調 [ ] いっそうの推進が必要 [ ] 抜本的に見直しや改善が必要		
今後の取組	「略」		

構成事務事業の評価結果

事業事業数	7	事業	平均点
成果 A	6事業	(85.7%)	
B	1事業	(14.3%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.9
コスト A	6事業	(85.7%)	
B	1事業	(14.3%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.9
進捗率 A	7事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点
平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	[説明欄]
引き続き、介護保険事業を安定運営するため、保険料の適正賦課及び収納並びに迅速な還付処理に努める。		
委員会評価	現状維持	[委員会意見欄]
担当課意見のとおり。		

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	2-4-4	評価担当課	町民税務課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	その他の社会保障の提供			-	-	-
目標	安心して社会保障を受けられると感じている人の割合				施策の内容 国民年金制度に関する周知を図るとともに相談業務等を行い、国民年金法に基づく事務を行います。また、生活困窮者等に対する経済的支援を行い、安定した生活の確保を推進します。	
現状と課題	医療保険や介護保険、年金といった社会保障制度は、町民誰もが不安を感じることなく生活するための基盤となることから、常に安定した制度運営を行う必要があります。 国民健康保険、後期高齢者医療及び介護保険の運営における財源及び公平性の確保のため、保険料等の滞納が生じないよう収納対策の推進が求められています。 本町では、現年度課税分の収納率が前年度水準を維持できるよう、収納特別対策本部を設置して訪問・督促などの徴収活動を実施するとともに、滞納者に対しては、税務署や県税事務所などと連携して差押などの法的手段を講じながら滞納額の解消に努めており、今後も徴収活動を強化しながら収納対策を継続していく必要があります。					

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
国民年金相談業務件数	件	1,298	1,300	1,300	1,300	1,300	-	0.34	1,300	0.34
			441	495	417	445	△	-	#DIV/0!	#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	1,770	1,974	1,603	1,761	3,935	5,179

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要		
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事業事業数	3	事業	平均点
成果 A	2事業	(66.7%)	
B	1事業	(33.3%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
コスト A	3事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
進捗率 A	3事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

1.9

次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	[説明欄] 引き続き、町民誰もが安心して社会保障を受けられるよう、制度の運営を行うとともに、公平性の確保のため収納対策の推進に努める。
委員会評価	現状維持	[委員会意見欄] 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	3・1・1	評価担当課	総務課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	交通安全意識の啓発			-	-	-
目標	安心して暮らせるよう交通安全や防犯、防災対策に満足している町民の割合				施策の内容	
現状と課題	東日本大震災の経験から「自助」「共助」「公助」の重要性が再認識されたところですが、今後も集中豪雨による水害や、大規模地震などの災害への備えが求められます。丸森町地域防災計画にかかる「自助」「共助」「公助」を防災まちづくりの基として、引き続き、消防団や自主防災組織の充実を図るとともに、町民、関係機関、行政が連携を図りながら総合的な地域防災活動を開催していく必要があります。 本町では、これまで地域防災活動や交通安全運動など、町民のたゆまぬ努力により、犯罪抑止や交通事故防除への成果が挙がっています。今後も引き続き、防犯体制の充実や交通環境の改善、交通安全マナーの向上などに地域が一丸となって推進していく必要があります。 平成23年3月に起きた東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故による放射性物質により、一部の農林産物の市場出荷制限や風評被害により大きな経済的影響を受けました。現在でも継続的に空閑放射能量の測定を行っており、安全性には問題のない値で落ちていますが、いまだ出荷制限が解除されていない林産物があり、町民の不安も残っていることから、適切な情報公開や放射線測定などによって慎重に対応していく必要があります。 本町の公共施設や住宅の放射性廃棄物の除染は平成26年度に完了しており、各地区に建設した仮置場で適切に保管している状況であります。現在、国が設置を進めている最終処分場の早期決定が待されており、一日も早い解消が求められています。				交通安全運動や児童の登下校時の指導などを実施することにより交通安全意識を啓発するとともに、町民一丸となった交通事故防止に努めます。近年、高齢者が関係する交通事故が多く発していることから、高齢者に対する交通安全教育の徹底を行うとともに、交通ルール遵守とマナーの向上を図ります。	

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
交通事故発生件数	件	33	26	25	24	25	-	0.24	25	0.24
			5	5	10	6	△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	5,552	5,672	6,920	6,744	7,257	8,754

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」
施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要
今後の取組	「略」

## 構成事務事業の評価結果

事業事業数	2	事業	平均点
成果 A	1事業	(50.0%)	
B	1事業	(50.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
コスト A	2事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.5
進歩率 A	1事業	(50.0%)	
B	1事業	(50.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

1.7

次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	【説明欄】 「丸森町地域防災計画」にかかる「自助」「共助」「公助」を防災まちづくりの基本として、引き続き、消防団や自主防災組織の充実を図るとともに、町民、関係機関、行政が連携を図りながら総合的な地域防災活動を開催していく。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課意見とのおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	3・1・2	評価担当課	総務課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	犯罪のない住みよいまちづくりの推進			-	-	-
目標	安心して暮らせるよう交通安全や防犯、防災対策に満足している町民の割合					
現状と課題	<p>東日本大震災の経験から「自助」「共助」「公助」の重要性が再認識されたところですが、今後も集中豪雨による水害や、大規模地震などの災害への備えが求められます。丸森町地域防災計画にかかる「自助」「公助」を防災まちづくりの基として、引き続き、消防団や自主防災組織の充実を図るとともに、町民、関係機関、行政が連携を図りながら総合的な地域防災活動を開催していく必要があります。</p> <p>本町では、これまで地域防災活動や交通安全運動など、町民のたゆまぬ努力により、犯罪抑止や交通事故防除への取り組みが挙げられています。今後も引き続き、防犯体制の充実や交通環境の改善、交通安全マナーの向上などに地域が一丸となって推進していく必要があります。</p> <p>平成23年3月に起きた東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故による放射性物質により、一部の農林産物の市場出荷制限や風評被害により大きな経済的影響を受けました。現在でも継続的に空閑放射能量の測定を行っており、安全性には問題のない値で落ちていますが、まだ出荷制限が解除されていない林産物があり、町民の不安も残っていますことから、適切な情報公開や放射線測定などによって慎重に対応していく必要があります。</p> <p>本町の公共施設や住宅の放射性廃棄物の除染は平成26年度に完了しており、各地区に建設した仮置場で適切に保管している状況であります。現在、国が設置を進めている最終処分場の早期決定が待たれています。一日も早い解消が求められています。</p>				警察との連携のもと、家庭、学校、地域が一体となって防犯意識の高揚に取組むとともに、犯罪の未然防止に努めます。近年、高齢者を狙った犯罪も増加傾向にあり、特に特殊詐欺について手口が巧妙化、複雑化、多様化していることから、地域が連携し防犯体制の強化、充実を図ります。	

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
町内の犯罪件数	件	69	59	56	56	50	-	0.74	50	0.74
			36	46	40	37	△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	5,439	6,867	7,345	8,496	8,127	8,407

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」
施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	[ ] おおむね順調 [ ] いっそうの推進が必要 [ ] 抜本的に見直しや改善が必要
今後の取組	「略」

## 構成事務事業の評価結果

事業事業数	2	事業
成果 A	2事業	(100.0%)
B	事業	(0.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
コスト A	2事業	(100.0%)
B	事業	(0.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
進捗率 A	1事業	(50.0%)
B	事業	(0.0%)
C	1事業	(50.0%)
未実施	事業	(0.0%)

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	[説明欄] 防犯関係機関と連携しながら、防犯体制の強化を図り、犯罪のないまちを目指す。特に高齢者が特殊詐欺を防止するため、特殊詐欺の予兆に関する情報提供や宮城県及び町が実施している「特殊詐欺電話撃退装置等購入費補助金」の周知を図るとともに、地区の防犯活動への支援を継続する。
委員会評価	現状維持	[委員会意見欄] 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	3・1・3	評価担当課	総務課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	防災・減災のまちづくりの推進			○	-	○
目標	安心して暮らせるよう交通安全や防犯、防災対策に満足している町民の割合				施策の内容	
現状と課題	<p>東日本大震災の経験から「自助」「共助」「公助」の重要性が再認識されたところですが、今後も集中豪雨による水害や、大規模地震などの災害への備えが求められます。丸森町地域防災計画にかかる「自助」「共助」「公助」を防災まちづくりの基として、引き続き、消防団や自主防災組織の充実を図るとともに、町民、団体機関、行政が連携を図りながら総合的な地域防災活動を開催していく必要があります。</p> <p>本町では、これまで地域防災活動や交通安全運動など、町民のたゆまぬ努力により、犯罪抑止や交通事故防除への成果が挙がっています。今後も引き続き、防犯体制の充実や交通環境の改善、交通安全マナーの向上などに地域が一丸となって推進していく必要があります。</p> <p>平成23年3月に起きた東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故による放射性物質により、一部の農林産物の市場出荷制限や風評被害により大きな経済的影響を受けました。現在でも継続的に空閑放射能量の測定を行っており、安全性には問題のない値で落ちていますが、いまだ出荷制限が解除されていない林産物があり、町民の不安も残っていますことから、適切な情報公開や放射線測定などによって慎重に対応していく必要があります。</p> <p>本町の公共施設や住宅の放射性廃棄物の除染は平成26年度に完了しており、各地区に建設した仮置場で適切に保管している状況であります。現在、国が設置を進めている最終処分場の早期決定が待されており、一日も早い解消が求められています。</p>				各地で異常気象や集中豪雨による浸水被害が発生するなど以前とは異なる自然災害が増加していることから、災害に強い、安心・安全のまちづくりに向けて、防火・防災施設の充実により、消防力や緊急時の対応能力を高めるとともに、防災・危機管理に対する町民の意識の向上を図ります。	

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
自主防災組織の結成率	%	78.0	100	100	100	100	-	0.98	100	0.98
			98	98	98	98	△	-		
							△	#DIV/0!		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	#DIV/0!		#DIV/0!
							△	-		
							△	#DIV/0!		#DIV/0!
							△	-		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	92,959	134,964	152,332	154,446	233,309	1,235,486

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」
施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要
今後の取組	「略」

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	26	事業
成果 A	14事業	(53.8%)
B	2事業	(7.7%)
C	4事業	(15.4%)
未実施	事業	(0.0%)
コスト A	17事業	(65.4%)
B	3事業	(11.5%)
C	1事業	(3.8%)
未実施	事業	(0.0%)
進捗率 A	14事業	(53.8%)
B	3事業	(11.5%)
C	4事業	(15.4%)
未実施	事業	(0.0%)

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

次年度以降の方針(主担当課)	拡充	【説明欄】 災害に強い、安心・安全のまちづくりに向け、防火・防災施設の維持管理を継続するとともに、消防力の維持及び緊急時の対応能力の強化を図るため、機能別団員の制度を導入し、団員の確保に努める。また、地域における自助・共助・公助による防災のまちづくりを進めるため、防災学習の実施、自主防災組織の活動支援、住民自治組織等との連携をより一層深め、防災意識の向上を図る。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 一部事業を除き、拡充予定の事業がないため。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	3・1・4	評価担当課	仮置場対策室	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	放射能対策の推進			-	-	-
目標	安心して暮らせるよう交通安全や防犯、防災対策に満足している町民の割合				施策の内容	
現状と課題	<p>東日本大震災の経験から「自助」「共助」「公助」の重要性が再認識されたところですが、今後も集中豪雨による水害や、大規模地震などの災害への備えが求められます。丸森町地域防災計画にかかる「自助」「共助」「公助」を防災まちづくりの基として、引き続き、消防団や自主防災組織の充実を図るとともに、町民、団体機関、行政が連携を図りながら総合的な地域防災活動を開催していく必要があります。</p> <p>本町では、これまで地域防災活動や交通安全運動など、町民のたゆまぬ努力により、犯罪抑止や交通安全マナーの向上などに地域が一丸となって推進していく必要があります。</p> <p>平成23年3月に起きた東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故による放射性物質により、一部の農林産物の市場出荷制限や風評被害により大きな経済的影響を受けました。現在でも継続的に空間放射線量の測定を行っており、安全性には問題のない値で落ちていますが、いまだ出荷制限が解除されていない林産物があり、町民の不安も残っていますことから、適切な情報公開や放射線測定などによって慎重に対応していく必要があります。</p> <p>本町の公共施設や住宅の放射性廃棄物の除染は平成26年度に完了しており、各地区に建設した仮置場で適切に保管している状況であります。現在、国が設置を進めている最終処分場の早期決定が待されており、一日も早い解消が求められています。</p>				原子力発電所の事故対応により発生した放射性廃棄物の適正管理、最終処分の促進とともに、放射性物質に関する適正な情報の発信、子どもを対象とした甲状腺検査等により、町民が安心・安全に暮らすことができるまちづくりを行います。	

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
放射性廃棄物適正管理率(仮置場)	%	0	100	100	100	100	-	1.00	100	1.00
			100	100	100	100	△	-		
放射性廃棄物処理率	%	0	100	100	100	100	-	1.00	100	1.00
			100	100	100	100	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	27,479	40,408	32,828	133,465	270,193	40,815

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」	
施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		[ ] おおむね順調 [ ] いっそうの推進が必要 [ ] 抜本的に見直しや改善が必要
今後の取組	「略」	

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	8	事業
成果 A	8事業	(100.0%)
B	事業	(0.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
コスト A	6事業	(75.0%)
B	1事業	(12.5%)
C	1事業	(12.5%)
未実施	事業	(0.0%)
進捗率 A	8事業	(100.0%)
B	事業	(0.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

平均点

2.0

平均点

1.6

平均点

2.0

平均点

1.9

次年度以降の方針(主担当課)	拡充	[説明欄] 引き続き、町民の安全安心な生活のため、空間・食品等の放射能測定を実施するとともに、汚染廃棄物の処理について、国等と検討・調整を進める。また、東京電力への損害賠償請求も継続し、県や近隣市町村を情報共有しながら、適切な処理を進めていく。
委員会評価	拡充	[委員会意見欄] 担当課意見とのおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	4-1-1	評価担当課	企画財政課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	地域が輝くまちづくりの推進				-	○
目標	魅力ある地域づくり(地域自治組織活動)に満足している町民の割合					
現状と課題	平成22年度に町内8地区の公民館を「まちづくりセンター」に改編し、指定管理による地域の特徴を活かした協働のまちづくりを進めてきました。これからも地域の拠点であるまちづくりセンターを中心には、町民がまちづくりの担い手として活躍できる特色ある地域づくりが求められています。 地域づくりを進めていくためには、様々な地域活動によるコミュニティの構築、これからの地域を担う人材の育成、各種市民活動団体や組織の相互ネットワークなど、様々な取組みや仕組みづくりが必要になっています。				地域の特色を活かした地区別計画を推進するため、住民自治組織の運営や事業企画の支援を行います。また、まちづくりの中心的役割を担う人材を育成し、行政と町民の協働のもとに地域に密着した自主的な活動を促進することにより、地域が輝くまちづくりを進めます。	

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
まちづくり活動団体数(NPO団体数を含む)	団体	7	11	8	8	8	-	1.00	15	0.53
			8	8	8	8	△	-		
地区別計画事業に対する参加者数	人	17,286	13,000	15,000	20,000	20,000	-	1.18	25,000	0.94
			14,747	19,723	22,288	23,520	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
まちづくり活動団体数(NPO団体数を含む)	団体	7	11	8	8	8	-	1.00	15	0.53
			8	8	8	8	△	-		
地区別計画事業に対する参加者数	人	17,286	13,000	15,000	20,000	20,000	-	1.18	25,000	0.94
			14,747	19,723	22,288	23,520	△	-		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	131,523	133,066	149,590	144,536	141,871	159,101

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	[ ] おおむね順調 [ ] いっそうの推進が必要 [ ] 扱本的に見直しや改善が必要		
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	17	事業	
成果 A	9事業	(52.9%)	
B	5事業	(29.4%)	
C	2事業	(11.8%)	
未実施	事業	(0.0%)	
コスト A	8事業	(47.1%)	
B	8事業	(47.1%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
進捗率 A	10事業	(58.8%)	
B	5事業	(29.4%)	
C	1事業	(5.9%)	
未実施	事業	(0.0%)	

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

平均点	1.4
平均点	1.5
平均点	1.6
平均点	1.5

次年度以降の方針 (主担当課)	見直しのうえ継続	[説明欄] 地域の特色を活かした地区別計画を推進するため、協働によるまちづくり交付金や、地域おこし協力隊等制度などを積極的に活用し、住民自治組織の運営や事業企画の支援を行います。また、町民と行政の協働を進め、集落支援員制度など地域に密着した自主的な活動を促進し、地域が輝くまちづくりを進めます。
委員会評価	見直しのうえ継続	[委員会意見欄] 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	4-1-2	評価担当課	企画財政課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	地域コミュニティの基盤づくり			○	-	○
目標	魅力ある地域づくり(地域自治組織活動)に満足している町民の割合					
現状と課題	平成22年度に町内8地区の公民館を「まちづくりセンター」に改編し、指定管理による地域の特徴を活かした協働のまちづくりを進めてきました。これからも地域の拠点であるまちづくりセンターを中心に、町民がまちづくりの担い手として活躍できる特色ある地域づくりが求められています。 地域づくりを進めていくためには、様々な地域活動によるコミュニティの構築、これからの地域を担う人材の育成、各種市民活動団体や組織の相互ネットワークなど、様々な取組みや仕組みづくりが必要になっています。 コロナ禍により施設の利用に制限がある中、町民が引きこもりにならないよう、感染防止対策を行いながら可能な限り地域活動を行っていく必要があります。				施策の内容	8地区の「まちづくりセンター」を地域住民の交流の場として充実させるとともに、地区別計画の事業を展開し、地域の拠点とするため指定管理制度によって、地域住民による主体的な有効活用を推進します。

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
まちづくりセンター利用者数	人	6,660	5,000	5,000	5,000	5,000	-	0.98	7,500	0.65
			3,321	4,610	4,950	4,895	△	-		
まちづくりセンターへの苦情件数	件	0	0	0	0	0	-	#DIV/0!	0	#DIV/0!
			0	0	0	0	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	49,212	51,836	72,086	50,028	53,556	74,959

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要	
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事業事業数	4	事業	
成果 A	2事業	(50.0%)	
B	1事業	(25.0%)	
C	1事業	(25.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
			平均点
			1.3
コスト A	4事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
			平均点
			2.0
進捗率 A	2事業	(50.0%)	
B	1事業	(25.0%)	
C	1事業	(25.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
			平均点
			1.3
平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			平均点
			1.5

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 8地区の「まちづくりセンター」を地域の拠点とするため指定管理制度によって、地域住民の交流の場として充実させるとともに、地区別計画の事業を展開し、地域住民による主体的な有効活用を推進します。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	4-2-1	評価担当課	企画財政課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	行財政を支える基盤の充実			-		○
目標	町役場の行財政改革や経費節減策に満足している町民の割合					
	町役場の情報公開に満足している町民の割合					
現状と課題	本町では、人口減少に伴い税収の伸びが見込めず、地方交付税の減額などによって厳しい財政状況が続き、今後も財政の好転が期待できない状況にあります。これからも行財政改革を推進し、健全な行財政運営を図ることが求められています。 行政に対する町民ニーズが多様化しており、町民が必要とするサービスを利用しやすい方法で提供することが求められています。また、行財政運営の透明性を高め、町民の信頼と理解を得るために、より一層の行政情報の公開が求められています。 町民の生活圏の拡大やニーズの高度化が進んでいることから、仙南圏域の市町との協力と役割分担が不可欠であり、より一層の広域行政の推進が望まれます。				町民が利用しやすい行政サービスをめざし、多様化、高度化する町民ニーズに柔軟に対応できるよう職員の意識改革と能力向上に努めます。 また、町が保有する公共施設等については、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行い、財政負担の軽減や平準化により公共施設の総合的かつ計画的な管理を推進します。	

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
実質公債費比率	%	11.2	11.2	9.3	8.2	12.1	-	0.69	12.1	0.69
			9.3	8.2	7.8	8.4	△	-		
将来負担比率	%	74.5	11.1	62.0	10.2	82.6	-	0.00	82.6	0.00
			4.4	10.2	0.0	0.0	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	375,158	364,006	449,179	472,945	476,675	934,847

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<input type="checkbox"/> おおむね順調 <input type="checkbox"/> いっそうの推進が必要 <input type="checkbox"/> 扱本的に見直しや改善が必要		
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	39	事業	平均点
成果 A	27事業	(69.2%)	
B	7事業	(17.9%)	
C	5事業	(12.8%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.6
コスト A	27事業	(69.2%)	
B	9事業	(23.1%)	
C	2事業	(5.1%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.7
進捗率 A	27事業	(69.2%)	
B	7事業	(17.9%)	
C	5事業	(12.8%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点
平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			

次年度以降の方針 (主担当課)	見直しのうえ継続	[説明欄]  町民が利用しやすい行政サービスをめざし、多様化、高度化する町民ニーズに柔軟に対応できるよう職員の意識改革と能力向上に努めます。 また、町が保有する公共施設等については、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行い、財政負担の軽減や平準化により公共施設の総合的かつ計画的な管理を推進します。
委員会評価	見直しのうえ継続	[委員会意見欄]  担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	4-2-2	評価担当課	総務課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	開かれた行政サービスの提供			-	○	-
目標	町役場の行財政改革や経費節減策に満足している町民の割合					
	町役場の情報公開に満足している町民の割合					
現状と課題	本町では、人口減少に伴い税収の伸びが見込めず、地方交付税の減額などによって厳しい財政状況が続き、今後も財政の好転が期待できない状況にあります。これからも行財政改革を推進し、健全な行財政運営を図ることが求められています。 行政に対する市民ニーズが多様化しており、町民が必要とするサービスを利用しやすい方法で提供することが求められています。また、行財政運営の透明性を高め、町民の信頼と理解を得るために、より一層の行政情報の公開が求められています。 町民の生活圏の拡大やニーズの高度化が進んでいることから、仙南圏域の市町との協力と役割分担が不可欠であり、より一層の広域行政の推進が望まれます。				施策の内容	町が保有する情報の公開、町の施策や事務事業に係る行政評価の公表、町政懇談会やまちづくり座談会の実施により、行政情報の公開と共有を図り、町民の声を行政運営に反映した開かれた行政を目指します。

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
町政懇談会やまちづくり座談会の参加者	人	180	280	280	280	280	-	0.62	220	0.79
			209	168	163	174	△	-		
行財政改革実施計画における目標達成度	%	78.1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	0.93	100.0	0.93
			80.0	80.0	80.0	93.1	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	82,575	79,314	94,285	84,128	83,412	144,755

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	[ ] おおむね順調 [ ] いっそうの推進が必要 [ ] 扱本的に見直しや改善が必要		
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事業事業数	12	事業	
成果 A	11事業	(91.7%)	
B	1事業	(8.3%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
コスト A	10事業	(83.3%)	
B	2事業	(16.7%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
進捗率 A	11事業	(91.7%)	
B	1事業	(8.3%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

次年度以降の方針 (主担当課)	見直しのうえ継続	[説明欄] 町民の声を積極的に収集し、情報発信による開かれた行政と、地域課題の共有による協働のまちづくりの推進に取り組むため、より多くの町民が参加できる町政懇談会やまちづくり座談会の開催方法を検討する。
委員会評価	見直しのうえ継続	[委員会意見欄] 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	4・2・3	評価担当課	企画財政課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	広域行政の推進			-	○	-
目標	町役場の行財政改革や経費節減策に満足している町民の割合					
	町役場の情報公開に満足している町民の割合					
現状と課題	本町では、人口減少に伴い税収の伸びが見込めず、地方交付税の減額などによって厳しい財政状況が続き、今後も財政の好転が期待できない状況にあります。これからも行財政改革を推進し、健全な行財政運営を図ることが求められています。 行政に対する市民ニーズが多様化しており、町民が必要とするサービスを利用しやすい方法で提供することが求められています。また、行財政運営の透明性を高め、町民の信頼と理解を得るために、より一層の行政情報の公開が求められています。 町民の生活圏の拡大やニーズの高度化が進んでいることから、仙南圏域の市町との協力と役割分担が不可欠であり、より一層の広域行政の推進が望まれます。				施策の内容	仙南地区の2市7町が連携して、事務の共同処理の活用を図るための調査及び構成市町間の調整を行い、今後の人口減少や高齢化が進む中で限られた人員や財源を効率的に活用していきます。

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
仙南地域広域行政事務組合負担金額(丸森町分)	千円	316,020	340,687	335,396	347,648	350,000	-	1.02	350,000	1.02
			335,498	340,887	338,324	355,595	△	-		
							△	#DIV/0!		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	#DIV/0!		#DIV/0!
							△	-		
							△	#DIV/0!		#DIV/0!
							△	-		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	321,137	335,498	335,396	338,324	355,595	379,729

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要	
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事業事業数	2	事業	平均点
成果 A	1事業	(50.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	1事業	(50.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.0
コスト A	1事業	(50.0%)	
B	1事業	(50.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.5
進捗率 A	1事業	(50.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	1事業	(50.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			1.2

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	[説明欄] 仙南地区の2市7町が連携して、事務の共同処理の活用を図るための調査及び構成市町間の調整を行い、今後の人口減少や高齢化が進む中で限られた人員や財源を有効的に活用していきます。 阿武隈急行線においては、令和元年東日本台風災害をはじめ度重なる災害による復旧経費や利用者減少のため、運賃収入の減少が経営に大きな影響を及ぼしている。会社及び沿線自治体が協力し利用者増加につながるように事業展開を検討していきます。
委員会評価	現状維持	[委員会意見欄] 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	5・1・1	評価担当課	建設課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	自然環境の保全と活用			○	-	-
目標	豊かで住みよい環境に満足している町民の割合					
現状と課題	<p>本町は273.30㎢と広大な面積を持ち、その約7割を山林が占め、阿武隈川やその支流域は、多くの優れた自然資源の宝庫となっています。この豊かな自然環境は、人々の生活に潤いを与えるだけではなく、自然とのふれあい、学習、レクリエーションの場としても様々な役割を担っており、保全に努めていく必要があります。</p> <p>潤いのある生活を営んでいくためには、公園・緑地などの身近な緑の適正な維持管理や、良好な景観の保全と創出が求められています。</p> <p>ごみの減量化・再資源化や環境美化などについては、これまで様々な取組みが行われてきましたが、引き続き町民・事業者・行政がそれぞれの役割を明確にしながら、より一層環境に配慮した取組みを推していくことが望まれます。</p>				施策の内容	豊かな自然を活かした河川公園や都市公園を適正に管理するとともに、住民ニーズに応じた新たな公園の整備や、「百々石公園」等の既存公園の再整備により、自然環境の保全と親しみを持って自然とふれあえる場づくりを進めます。

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
不動尊公園利用者数	人	9,661	10,000	15,000	25,000	25,000	-	0.74	10,000	1.84
			20,316	22,150	23,581	18,447	△	-		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
不動尊公園利用者数	人	9,661	10,000	15,000	25,000	25,000	-	0.74	15,000	1.23
			20,316	22,150	23,581	18,447	△	-		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	15,361	13,662	23,404	24,408	97,654	41,924

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<p>[ ] おおむね順調</p> <p>[ ] いっそうの推進が必要</p> <p>[ ] 抜本的に見直しや改善が必要</p>		
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事業事業数	6	事業	平均点
成果 A	4事業	(66.7%)	
B	1事業	(16.7%)	
C	1事業	(16.7%)	
未実施	事業	(0.0%)	
コスト A	3事業	(50.0%)	平均点
B	2事業	(33.3%)	
C	1事業	(16.7%)	
未実施	事業	(0.0%)	
進歩率 A	4事業	(66.7%)	平均点
B	1事業	(16.7%)	
C	1事業	(16.7%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

次年度以降の方針 (主担当課)	見直しのうえ継続	【説明欄】
		当年度に不動尊公園歩道橋橋梁補修および百々石公園再整備事業を実施したことにより、事業費が拡大した。次年度以降は、環境保全のため適切な維持管理を行い、利用状況等を確認しながら、事業の見直しを適宜行う。
委員会評価	見直しのうえ継続	【委員会意見欄】
		担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	5・1・2	評価担当課	町民税務課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	資源循環利用の推進			-	-	-
目標	豊かで住みよい環境に満足している町民の割合					
現状と課題	本町は273.30kmと広大な面積を持ち、その約7割を山林が占め、阿武隈川やその支流域は、多くの優れた自然資源の宝庫となっています。この豊かな自然環境は、人々の生活に潤いを与えるだけではなく、自然とのふれあい、学習、レクリエーションの場としても様々な役割を担っており、保全に努めていく必要があります。 潤いのある生活を営んでいくためには、公園・緑地などの身近な緑の適正な維持管理や、良好な景観の保全と創出が求められています。 ごみの減量化・再資源化や環境美化などについては、これまで様々な取組みが行われてきましたが、引き続き町民・事業者・行政がそれぞれの役割を明確にしながら、より一層環境に配慮した取組みを推進していくことが望まれます。				資源循環を基本的な取組みとし、3R【Reduceリデュース(廃棄物の発生抑制)、Reuseリユース(再使用)、Recycleリサイクル(再資源化)】に町民等が主体的に取組めるような支援を行なっています。また、家庭や事業所から排出される廃棄物の適正処理を確保するとともに、廃棄物の不適正排出や不法投棄の対策を強化し、長期的に安心・安全で環境に与える負荷を低減させるごみ処理体制の確保を図ります。	

目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
町民参加型環境講座参加者数	人	20	30	30	30	30	-	4.50	50	2.70
			29	69	107	135	/\	-		
リサイクル率	%	23.7	25.0	25.0	25.0	25.0	-	0.88	25.0	0.88
			23.3	22.7	22.0	22.0	/\	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							/\	-	#DIV/0!	#DIV/0!
							/\	-	#DIV/0!	#DIV/0!
							/\	-	#DIV/0!	#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	38,528	54,721	36,729	61,331	61,595	62,017

取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要	
今後の取組	「略」		

構成事務事業の評価結果

事務事業数	2	事業	平均点
成果 A	1事業	(50.0%)	
B	1事業	(50.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.5
コスト A	1事業	(50.0%)	
B	1事業	(50.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.5
進捗率 A	1事業	(50.0%)	
B	1事業	(50.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点
平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 ・事業の情報発信により、引き続き環境美化・ごみ減量化など環境に配慮した取り組みを推進する。 ・町のごみ収集を業者委託により適正に処理し、環境保全を図る。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	5・1・3	評価担当課	町民税務課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	環境保全・美化活動の推進			-	-	-
目標	豊かで住みよい環境に満足している町民の割合					
現状と課題	本町は273.30km <sup>2</sup> と広大な面積を持ち、その約7割を山林が占め、阿武隈川やその支流域は、多くの優れた自然資源の宝庫となっています。この豊かな自然環境は、人々の生活に潤いを与えるだけではなく、自然とのふれあい、学習、レクリエーションの場としても様々な役割を担っており、保全に努めていく必要があります。 潤いのある生活を営んでいくためには、公園・緑地などの身近な緑の適正な維持管理や、良好な景観の保全と創出が求められています。 ごみの減量化・再資源化や環境美化などについては、これまで様々な取組みが行われてきましたが、引き続き町民・事業者・行政がそれぞれの役割を明確にしながら、より一層環境に配慮した取組みを推していくことが望まれます。				地域の特性や環境資源を生かしながら、町民が主体的に環境保全や美化活動に取組むことができる支援を行います。また、「環境基本計画」に掲げる町を目指すとともに、環境教育・環境学習の充実を図り、環境の保全と創造に主体的に取組む人材を育てます。	

目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
一斉清掃活動参加者数	人	2,489	2,700	2,700	2,700	2,700	-	0.75	2,900	0.70
			2,297	1,520	1,506	2,024	△	-	#DIV/0!	#DIV/0!
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	3,498	4,586	4,101	5,057	6,286	5,589

取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」	
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		[ ] おおむね順調 [ ] いっそうの推進が必要 [ ] 抜本的に見直しや改善が必要
今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業数	6	事業	平均点
成果 A	4事業	(66.7%)	
B	2事業	(33.3%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.8
コスト A	5事業	(83.3%)	
B	1事業	(16.7%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.8
進捗率 A	5事業	(83.3%)	
B	1事業	(16.7%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

1.8

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	[説明欄] 令和6年度に地球温暖化対策実行計画(事務事業編)を策定した。 今後、国・県の上位構想の策定状況を踏まえ、令和8年度以降に地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定を検討する。
委員会評価	現状維持	[委員会意見欄] 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

事業なし

令和6年度分

施策コード	5・2・1	評価担当課	総務課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	先導的な省エネルギー化の推進			-	-	○
目標	自然や木々の緑の豊富さに満足している町民の割合					
現状と課題	地球温暖化、オゾン層破壊、天然資源の枯渇、廃棄物の増加など様々な環境問題を背景に、環境へ配慮した取組みが以前にも増して強く求められています。 化石燃料の使用拡大が地球温暖化に大きな影響を与えるといわれる中で、環境への負荷が少ないと再生可能エネルギーが注目されています。自然環境に恵まれている本町にあっては、地球温暖化への影響が最も大きいとされる二酸化炭素を吸収する森林の保全・育成とともに、潜在的なエネルギーの活用について検討し、環境負荷の軽減に努めていくことが必要です。 近年急激に進む人口減少や高齢化の影響を受け、荒廃した山林や耕作放棄地などが増加していますが、こうした土地を適正に管理するため、「国土利用計画」を見直し豊かな自然環境の保全に努めていく必要があります。				施策の内容	低炭素社会の実現と限りある資源の有効利用のため、行政が率先して環境に配慮した取組みを進めるとともに、町民一人ひとりの省エネルギーへの意識の向上と行動の重要性について広く町民に呼びかけ、周知を図っていきます。

目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
公共施設等のエネルギー使用量の削減率	%	-	2.5	2.5	2.5	3.0	-	28.90	5.0	17.34
			21.1	17.9	69.0	86.7	△	-		
公共施設の省エネルギー化率	%	10.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	1.09	30.0	0.72
			14.6	14.4	14.0	21.7	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	0	0	172,256	673,644	0	0

取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要	
今後の取組	「略」		

構成事務事業の評価結果

事務事業数	0	事業	平均点
成果 A	事業		
B	事業		
C	事業		
未実施			
コスト A	事業	平均点	
B	事業		
C	事業		
未実施			
進捗率 A	事業	平均点	
B	事業		
C	事業		
未実施			

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

次年度以降の方針 (主担当課)	-	【説明欄】
		令和5年度で完了している
委員会評価	-	【委員会意見欄】

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	5・2・2	評価担当課	町民税務課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	再生可能エネルギーの導入推進				-	○
目標	自然や木々の緑の豊富さに満足している町民の割合				施策の内容	
現状と課題	地球温暖化、オゾン層破壊、天然資源の枯渇、廃棄物の増加など様々な環境問題を背景に、環境へ配慮した取組みが以前にも増して強く求められています。 化石燃料の使用拡大が地球温暖化に大きな影響を与えるといわれる中で、環境への負荷が少ない再生可能エネルギーが注目されています。自然環境に恵まれている本町にあっては、地球温暖化への影響が最も大きいとされる二酸化炭素を吸収する森林の保全・育成とともに、潜在的なエネルギーの活用について検討し、環境負荷の軽減に努めています。				住宅用太陽光発電設備に対する補助金の交付等により一般家庭や事業所における、環境にやさしく、分散型によるエネルギー供給が可能な再生可能エネルギーの導入を推進します。また、地域の特性を活かした再生可能エネルギーの導入を町民が主体となって検討することで、地域が抱える課題解決への一助となるように事業の取組みを支援します。	

目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
導入検討個別部会設置数	件	0	5	5	5	5	-	0.20	8	0.13
			0	0	0	1	△	-		
再生可能エネルギー事業取組み数	件	0	2	2	2	2	-	0.00	4	0.00
			0	0	0	0	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
導入検討個別部会設置数	件	0	5	5	5	5	-	0.20	8	0.13
			0	0	0	1	△	-		
再生可能エネルギー事業取組み数	件	0	2	2	2	2	-	0.00	4	0.00
			0	0	0	0	△	-		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	1,529	2,390	879	2,372	4,709	4,282

取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要	
今後の取組	「略」		

構成事務事業の評価結果

事務事業数	1	事業	平均点
成果 A	1事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
コスト A	1事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
進捗率 A	1事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

2.0

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】  本町は、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し、令和6年3月にゼロカーボンシティ宣言を表明した。今後も既存事業の見直しや新たな施策の展開を図り、脱炭素化に向けた取り組みを推進していく。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】  担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	5・2・3	施策名	土地利用の合理化、町土の保全	評価担当課	企画財政課	総合戦略	行政経営	過疎
						-	-	-
目標	自然や木々の緑の豊富さに満足している町民の割合							
現状と課題	地球温暖化、オゾン層破壊、天然資源の枯渇、廃棄物の増加など様々な環境問題を背景に、環境へ配慮した取組みが以前にも増して強く求められています。 化石燃料の使用拡大が地球温暖化に大きな影響を与えるといわれる中で、環境への負荷が少ない再生可能エネルギーが注目されています。自然環境に恵まれている本町にあっては、地球温暖化への影響が最も大きいとされる二酸化炭素を吸収する森林の保全・育成とともに、潜在的なエネルギーの活用について検討し、環境負荷の軽減に努めていくことが必要です。 近年急激に進む人口減少や高齢化の影響を受け、荒廃した山林や耕作放棄地などが増加していますが、こうした土地を適正に管理するため、「国土利用計画」を見直し豊かな自然環境の保全に努めていく必要があります。					本町の計画的な土地利用を推進するため、「国土利用計画」を策定し適正に誘導します。また、乱開発を防止し、緑豊かな環境を保全するため関係法令に基づいた適正な規制・指導を行います。		

目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
自然的土地利用面積(農地、森林、原野、河川等)	ha	22,954	22,645	22,151	22,755	22,755	-	0.97	22,755	0.97
			22,167	165,840	209,353	22,060	△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	0	0	120	120	120	120

取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要	
今後の取組	「略」		

構成事務事業の評価結果

事業事業数	2	事業	平均点
成果 A	1事業	(50.0%)	
B	1事業	(50.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
コスト A	2事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.5
進捗率 A	1事業	(50.0%)	
B	1事業	(50.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】  本町の計画的な土地利用を推進するため、「丸森町国土利用計画(第4次)」に基づき適正に対応します。また、太陽光や風力発電等再生可能エネルギー施設の設置に関しては、防災上及び自然・生活環境に及ぼす影響等を注視し、引き続き、開発計画の状況等把握に努め、乱開発に繋がらないよう、県等と連携した対応を行います。また、乱開発を防止し、緑豊かな環境を保全するため関係法令に基づいた適正な規制・指導を行います。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】  担当課意見のとおり。

# 施 策 評 価 表

令和6年度分

施策コード	6・1・1	評価担当課	農林課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	農業の生産振興					
目標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合					
現状と課題	<p>本町の農業は、稻作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(ブロッコリーや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は平坦地から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。</p> <p>農業を取り巻く情勢は厳しさを増していますが、本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、将来的な農業の担い手対策など、これらの課題に対応するための取組みを行っています。</p> <p>畜産については、農家数は減少しておりますが、酪農は、中核的農家の規模拡大が進んでいる一方で、繁殖と牛は小規模農家が多く、飼養頭数は減少傾向となっています。</p> <p>園芸については、消費者との交流を深めながら、顧の見える農業や地産地消に取り組んでいます。また、高齢者や女性グループを中心に農産物の加工や直売所などの販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や飲食店との連携が行われています。</p> <p>森林は、本町の行政区域面積の約3割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しており重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき、貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などのため森林の整備に努めるとともに、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。</p>	施策の内容	水稻や園芸作物など地域の特性を活かした農産物の生産拡大、产地化、生産性の向上を進めることで、農業者の所得向上と経営安定が図られるような農業振興、いわゆる「儲ける農業」を推進します。			

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)							計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)	
園芸特産作物出荷額(JA出荷額)	千円	195,000	300,000	300,000	300,000	300,000	-	0.57	500,000	0.34	
			152,811	153,608	159,177	170,850	△	-			
							-	#DIV/0!		#DIV/0!	
							△	-			
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)							計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	500,000	0.34	
			195,000	300,000	300,000	300,000	300,000	-			
			152,811	153,608	159,177	170,850	△	-			
							-	#DIV/0!		#DIV/0!	
							△	-			
										#DIV/0!	

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	149,701	72,058	63,524	62,235	63,350	71,524

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」
施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	[ ] おおむね順調 [ ] いっそうの推進が必要 [ ] 扱本的に見直しや改善が必要
今後の取組	「略」

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	29	事業
成果 A	14事業	(48.3%)
B	6事業	(20.7%)
C	7事業	(24.1%)
未実施	事業	(0.0%)
コスト A	11事業	(37.9%)
B	15事業	(51.7%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
進捗率 A	14事業	(48.3%)
B	6事業	(20.7%)
C	7事業	(24.1%)
未実施	事業	(0.0%)

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

次年度以降の方針(主担当課)	拡充	【説明欄】 令和7年3月に策定した「丸森町農業振興ビジョン(第二次)」に基づき各種事業を展開し、農業振興を推進する。
委員会評価	見直しのうえ継続	【委員会意見欄】 事業の見直しを予定しているため。

# 施 策 評 価 表

令和6年度分

施策コード	6・1・2	評価担当課	農林課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	安全・安心な農産物の提供			-	-	
目標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合				施策の内容	
現状と課題	<p>本町の農業は、稻作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(ブロッコリーや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は平野地から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。</p> <p>農業を取り巻く情勢は厳しさを増していますが、本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、将来的な農業の扭い手対策など、これらの課題に対応するため取組みを行っています。</p> <p>畜産については、農家数は減少しておりますが、酪農は、中核的農家の規模拡大が進んでいる一方で、繁殖牛は小規模農家が多く、飼養頭数は減少傾向にあります。畜産の方向への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めいくとともに、消費者との交流を深めながら、頭の見える農業や地産地消に取り組んでいかなければなりません。また、高齢者や女性グループを中心に農産物の加工や直売所などの販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や二次加工化に期待が寄せられています。</p> <p>森林は、本町の行政区画面積の7割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しており重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に働き、貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などをため森林の整備に努めるほか、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。</p>				豊かな自然環境を守るとともに、農産物の付加価値を高め安定した価格での販売を促すため、環境保全型農業や生産者の顔が見える農業を推進し、安全・安心な農産物の提供を進めます。	

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)		
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)	
農産物認証制度取組面積	ha	10.6	14.0	14.0	14.0	14.0	-	0.60	15.0	0.56	
		10.2	10.7	8.4	8.4			-			
農産物直売所の売上高	千円	166,821	200,000	200,000	200,000	200,000	-	1.01	200,000	1.01	
		185,548	180,684	194,709	201,803			-			
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI		基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)		
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)	
							-	#DIV/0!		#DIV/0!	
								-			
								#DIV/0!		#DIV/0!	
								-			

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	5,628	5,090	5,399	5,896	6,156	2,737

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」	
施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		[ ] おおむね順調 [ ] いっそうの推進が必要 [ ] 扱本的に見直しや改善が必要
今後の取組	「略」	

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	3	事業	
成果 A	事業	(0.0%)	平均点
B	事業	(0.0%)	
C	3事業	(100.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
コスト A	3事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	0.0
進捗率 A	事業	(0.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	3事業	(100.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点
平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出	0.7		

次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	[説明欄] 令和7年3月に策定した「丸森町農業振興ビジョン(第二次)」に基づき各種事業を展開し、「みどり認定」農業者の増加などに取り組み、安全・安心な生産地として情報発信するとともに、農産物の付加価値を図る。
委員会評価	現状維持	[委員会意見欄] 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	6・1・3	評価担当課	農林課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	農業生産基盤の整備推進			-	-	
目標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合				施策の内容	
現状と課題	<p>本町の農業は、稻作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(ブロッコリーや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は平野地から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。</p> <p>農業を取り巻く情勢は厳しさを増していますが、本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、持続的な農業の扭り手对策など、これらの課題に対応するための取組みを行っています。</p> <p>食の安全・安心・透明への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めていくとともに、消費者との交流を深めながら、顧の見える農業や地産地消に取り組んでいなければなりません。また、高齢者や女性グループを中心に農産物の加工や直売所などで販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や6次産業化に期待が寄せられています。</p> <p>森林は、本町の行政区域面積の7割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しております重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき、貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などをため森林の整備に努めるほか、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。</p>				<p>農業生産性の向上と効率的・安定的な農業経営を図るため、農地、農道及び用排水路等の農業生産基盤の整備を推進します。</p> <p>あわせて、農業経営の規模拡大と効率化を図るため、農地中間管理機構推進事業等を活用して担い手への農地の集積・集約化を推進します。</p>	

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
担い手への農地集積率	%	17.2	50.0	50.0	50.0	70.0	-	0.55	70.0	0.55
			34.8	34.9	38.1	38.6	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							-	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
							△	-		
							-	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
							△	-		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	21,599	43,970	34,725	126,508	74,539	163,786

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<p>[ ]おおむね順調</p> <p>[ ]いっそうの推進が必要</p> <p>[ ]抜本的に見直しや改善が必要</p>		
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	8	事業
成果 A	3事業	(37.5%)
B	3事業	(37.5%)
C	2事業	(25.0%)
未実施	事業	(0.0%)
コスト A	5事業	(62.5%)
B	1事業	(12.5%)
C	2事業	(25.0%)
未実施	事業	(0.0%)
進歩率 A	3事業	(37.5%)
B	3事業	(37.5%)
C	2事業	(25.0%)
未実施	事業	(0.0%)

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

次年度以降の方針 (主担当課)	拡充	[説明欄] 令和7年3月に策定した「丸森町農業振興ビジョン(第二次)」に基づき各種事業を展開するとともに、県と連携した基盤整備事業などに取り組み、農業基盤の整備及び農地の集積・集約化を推進する。
委員会評価	拡充	[委員会意見欄] 担当課意見のとおり。

# 施 策 評 価 表

令和6年度分

施策コード	6・1・4	評価担当課	農林課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	豊かな農村資源の保全と活用			-	-	-
目標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合				施策の内容	
現状と課題	<p>本町の農業は、稻作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(ブロッコリーや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は平坦地から中山間地までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。</p> <p>農業を取り巻く情勢は厳しくなっていますが、本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、将来的な農業の担い手対策など、これらの課題に対応するための取組みを行っています。</p> <p>一方で、農家数は減少してありますが、酪農は、中核的農家の規模拡大が進んでいる一方で、繁殖牛は小規模農家が多く、飼養頭数は減少傾向となっています。</p> <p>食の安全・安心志向への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めていくとともに、消費者との交流を深めながら、購入される農業や地産地消に取り組んでいきたいです。また、高齢者や女性グループを中心に農産物の加工や直売所などで販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や次世代農業化に期待が寄せられています。</p> <p>森林の行政区域面積の7割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しており重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき、貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などをため森林の整備に努めるほか、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。</p>				平坦地から中山間地まで、地域の特性に応じた農業の振興と地域ぐるみでの農村資源の保全と活用を推進し、豊かな自然と美しい農村環境を後世に引き継ぎます。	

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
多面的機能支払交付金交付対象農用地面積	ha	278	1,233	1,233	1,233	1,233	-	1.12	1,233	1.12
			1,369	1,372	1,380	1,380	△	-		
耕作放棄抑制面積	ha	489	498	498	498	498	-	1.11	498	1.11
			550	551	551	554	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	#DIV/0!		#DIV/0!
							△	#DIV/0!		#DIV/0!
							△	#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	132,321	135,394	138,205	138,351	141,511	144,294

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	[ ] おおむね順調 [ ] いっそうの推進が必要 [ ] 扱本的に見直しや改善が必要
今後の取組	「略」

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	3	事業	平均点
成果 A	3事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
コスト A	3事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
進捗率 A	2事業	(66.7%)	
B	1事業	(33.3%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.7
平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			
			1.9

次年度以降の方針 (主担当課)	拡充	【説明欄】 令和7年3月に策定した「丸森町農業振興ビジョン(第二次)」に基づき各種事業を展開し、多面的機能支払交付金制度などに取り組むとともに、面積の拡大及び加算措置などの新たな取り組みを実施する集落へ積極的に支援し、優良な農地保全と適正な農地利用を推進する。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 令和7年3月に策定した「丸森町農業振興ビジョン(第二次)」に基づき各種事業を推進するため。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	6・1・5	評価担当課	農林課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	新たな活力を生む農業担い手の育成				-	○
目標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合				施策の内容	
現状と課題	<p>本町の農業は、稲作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(ブロッコリーや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は平地から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。</p> <p>農業を続ける意欲(情熱)は厳しい状況であります。本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、待望的な農業の担い手対策など、これらの課題に対応するため取り組みを行っています。</p> <p>畜産についても、農家数は減少しておりますが、酪農は、中核的農家の規模拡大が進んでいる一方で、繁殖母牛は小規模農家が多く、飼養頭数は減少傾向となっています。</p> <p>食の安全・安心志向への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めしていくとともに、消費者との交流を深めながら、顧の見える農業や地産地消に取り組んでいき必要があります。また、高齢者や女性グループを中心とした農作物の加工や販売所などの販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や次世代農業化に期待が寄せられています。</p> <p>森林は、本町の行政区地面積の7割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しております重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などをため森林の整備に努めるほか、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域農業の振興が求められます。</p>				認定農業者の規模拡大や経営安定の支援、新規就農者の育成確保、集落営農の組織化・法人化を進め、将来的に安定した地域農業の担い手を確保します。	

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
認定農業者数(所得額400万円以上)	経営体	19	30	30	30	30	-	0.60	30	0.60
			8	14	12	18	△	-		
認定新規就農者数(合計)	人	0	6	6	6	6	-	1.33	6	1.33
			6	6	8	8	△	-		
集落営農法人数	経営体	0	7	8	9	10	-	0.60	10	0.60
			4	5	6	6	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
認定農業者数(所得額400万円以上)	経営体	19	30	30	30	30	-	0.60	30	0.60
			8	14	12	18	△	-		
集落営農法人数	経営体	0	7	8	9	10	-	0.60	10	0.60
			4	5	6	6	△	-		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	28,056	42,010	25,279	32,560	28,688	55,412

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>[ ] おおむね順調</li> <li>[ ] いっそうの推進が必要</li> <li>[ ] 抜本的に見直しや改善が必要</li> </ul>		

今後の取組	「略」		
-------	-----	--	--

## 構成事務事業の評価結果

事業事業数	16	事業	
成果 A	6事業	(37.5%)	
B	5事業	(31.3%)	平均点
C	4事業	(25.0%)	1.1
未実施	事業	(0.0%)	
コスト A	8事業	(50.0%)	
B	5事業	(31.3%)	平均点
C	事業	(0.0%)	1.6
未実施	事業	(0.0%)	
進捗率 A	7事業	(43.8%)	
B	7事業	(43.8%)	平均点
C	2事業	(12.5%)	1.3
未実施	事業	(0.0%)	平均点

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

1.4

次年度以降の方針 (主担当課)	拡充	【説明欄】
		令和7年3月に策定した「丸森町農業振興ビジョン(第二次)」に基づき各種事業を展開し、これまで同様に担い手育成などに取り組むとともに、企業と連携し新たな経営体の確保にも取り組み、将来的に安定した地域農業の担い手を確保する。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】
令和7年3月に策定した「丸森町農業振興ビジョン(第二次)」に基づき各種事業を推進するため。		

# 施 策 評 価 表

令和6年度分

施策コード	6・1・6	評価担当課	農林課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	畜産の振興			-	-	
目標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合				施策の内容	
現状と課題	<p>本町の農業は、稻作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(ブロッコリーや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は平坦地から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。</p> <p>農業を取り巻く情勢は厳しさを増していますが、本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、将来的な農業の担い手対策など、これらの課題に対応するための取組みを行っています。</p> <p>畜産面でも、農家数は減少しておりますが、酪農、中核的農家の規模拡大が進んでいる一方で、繁殖牛は小規模農家が多く、飼養頭数は減少傾向となっています。</p> <p>食の安全・安心・志向への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めていくとともに、消費者との交流を深めながら、購入される農業や地産地消に取り組んでいきたいです。また、高齢者や女性グループを中心に農産物の加工や直売所などの販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や6次農業化に期待が寄せられています。</p> <p>森林は、本町の行政区域面積の割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しており重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき、貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などをため森林の整備に努めるとともに、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。</p>				畜産農家の生産基盤の強化と生産性の向上により、さらなる生産量の確保と資源循環型農業を推進し、畜産の振興を図ります。	

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
飼養頭数(乳用牛) 搾乳牛	頭	1,272	1,300	1,300	1,300	1,300	-	0.75	1,400	0.70
			1,102	1,089	1,007	975	△	-		
飼養頭数(肉用牛) 繁殖素牛	頭	355	370	370	370	370	-	0.73	400	0.68
			375	358	297	271	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	#DIV/0!		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	11,712	15,346	9,142	12,001	10,932	15,372

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<p>[ ] おおむね順調</p> <p>[ ] いっそうの推進が必要</p> <p>[ ] 扱本的に見直しや改善が必要</p>		
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事業	7	事業	平均点
成果 A	4事業	(57.1%)	1.4
B	2事業	(28.6%)	
C	1事業	(14.3%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.7
コスト A	5事業	(71.4%)	
B	2事業	(28.6%)	
C	事業	(0.0%)	1.4
未実施	事業	(0.0%)	
進捗率 A	4事業	(57.1%)	
B	2事業	(28.6%)	
C	1事業	(14.3%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	[説明欄] 畜産農家の負担軽減と生産拡大を図るため、町営放牧場と子牛育成センターの安定した運営と、自給飼料の生産拡大によるコスト削減を図るために各事業を継続していく必要がある。
委員会評価	現状維持	[委員会意見欄] 担当課意見のとおり。

# 施 策 評 価 表

令和6年度分

施策コード	6・1・7	評価担当課	農林課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	森林資源の活用と多面的機能の充実			-	-	
目標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合					
現状と課題	<p>本町の農業は、稲作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(ブロッコリーや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は平野地から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。</p> <p>農業を取り巻く情勢は厳しく増していますが、本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻です。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、持続的な農業の扭り手対策など、これらの課題に対応するための取組みを行っています。</p> <p>食の安全・安心・指向への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めていくとともに、消費者との交流を深めながら、顧の見入る農業や地産地消に取り組んでいなければなりません。また、高齢者や女性グループを中心とした農産物の加工や直売所などで販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や6次産業化に期待が寄せられています。</p> <p>森林は、本町の行政区域面積の約7割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しており重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき、貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などをため森林の整備に努めるほか、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。</p>	施策の内容	適正な森林施設の推進と森林病害虫の防除に取組み、優良材の生産による木材利用の促進と水源の涵養などの多面的機能の維持発揮に努めます。 あわせて、交流・教育・健康に着目した新たな森林活用に向けた検討を進めます。			

目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
森林整備面積(造林、下刈、除伐、間伐)	ha	150.9	147	147	147	166	-	0.79	166	0.79
		71	111	116	131			-		
森林病害虫防除本数(松くい虫、ナラ枯れ)	本	5,381	1,010	1,020	1,500	1,520	-	1.54	3,950	0.59
		1,087	1,702	2,132	2,344			-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
								-	#DIV/0!	
								-	#DIV/0!	
								-	#DIV/0!	
								-	#DIV/0!	

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	47,272	46,296	76,994	85,505	95,958	108,600

取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要
今後の取組	「略」

構成事務事業の評価結果

事業	9	事業
成果 A	7事業	(77.8%)
B	事業	(0.0%)
C	2事業	(22.2%)
未実施	事業	(0.0%)
コスト A	事業	(0.0%)
B	9事業	(100.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
進歩率 A	7事業	(77.8%)
B	事業	(0.0%)
C	2事業	(22.2%)
未実施	事業	(0.0%)

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

平均点	1.6
平均点	1.0
平均点	1.6
平均点	1.4

次年度以降の方針 (主担当課)	拡充	[説明欄] 適正な森林施設の推進と森林の有する多面的機能の維持、向上を図るために、補助事業を活用しながら継続的に事業に取り組むとともに、施業が必要な適齢に達した森林に対し適切な管理を行うなど計画的に事業を推進する。
委員会評価	現状維持	[委員会意見欄] 拡充予定の事業がないため。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	6・1・8	評価担当課	農林課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	内水面漁業の振興			-	-	-
目標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合					
現状と課題	<p>本町の農業は、種作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(ブロッコリーや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は年間自給から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。</p> <p>現状で抱いています。本町においても県外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や土産技術の向上、将来的な農業の活性化対策など、これらの課題に対応するための取組みを行っています。</p> <p>畜産についても、農家数は減少しておりますが、酪農は、中核の農家の規模拡大が進んでいる一方で、繁殖和牛は小規模農家が多く、飼養頭数は減少傾向となっています。</p> <p>食の安全・安心志向への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めていくとともに、消費者との交流を深めながら、顧の見える農業や地産地消に取り組んでいなければなりません。また、高齢者や女性グループを中心に農産物の加工や直売所などでの販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や次世代化に期待が寄せられています。</p> <p>森林は、本町の行政区面積の7割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しており重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき、豊かな財産である自然環境の保全や水資源の涵養などのため森林の整備に努めるほか、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。</p>				施策の内容	

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
サケの採卵数	万粒	80	100	100	100	100	-	0.12	100	0.12
			0	41	20	12	△	-		
サケ・アユの稚魚放流数	万尾	15	20	20	20	20	-	0.30	20	0.30
			14	19	19	6	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
							△	-		
							△	#DIV/0!		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	300	300	300	300	300	300

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要	
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	1	事業
成果 A	事業	(0.0%)
	事業	(0.0%)
	1事業	(100.0%)
未実施	事業	(0.0%)
コスト A	1事業	(100.0%)
	事業	(0.0%)
	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
進捗率 A	事業	(0.0%)
	事業	(0.0%)
	1事業	(100.0%)
未実施	事業	(0.0%)

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	【説明欄】 河川の災害復旧工事が続いていることから、阿武隈川漁協の活動が制限されている状況であるが、復旧後を見据え水産資源を維持するため、内水面漁業振興事業を継続して実施する。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課意見のとおり。

# 施 策 評 価 表

令和6年度分

施策コード	6・1・9	評価担当課	農林課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	6次産業化の推進					
目標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合				施策の内容	
現状と課題	<p>本町の農業は、稻作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(ブロッコリーや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は平野地から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。</p> <p>農業を取り巻く情勢は厳しさを増していますが、本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、将来的な農業の担い手対策など、これらの課題に対応するための取組みを行っています。</p> <p>一方で、農家数は減少してあります。中核的農家の規模拡大が進んでいる一方で、繁殖和牛は小規模農家が多く、飼養頭数は減少傾向になっています。</p> <p>食の安全・安心志向への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めていくとともに、消費者との交流を深めながら、隣の見える農業や地産地消に取り組んでい有必要があります。また、高齢者や女性グループを中心に農産物の加工や直売所などで販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や6次産業化に期待が寄せられています。</p> <p>森林は、本町の行政区域面積の7割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しており重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき、貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などをため森林の整備に努めるほか、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。</p>				本町の地形を生かして生産される様々な農林産物等を原料とし、生産者自らが加工・販売まで行う6次産業化を推進し、多角的な農業経営により所得向上を図ります。	

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
6次産業事業主数	名	24	32	33	34	35	-	1.66	35	1.66
			47	52	56	58	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
6次産業事業主数	名	24	32	33	34	35	-	1.66	35	1.66
			47	52	56	58	△	-		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	2,179	1,471	1,712	490	4,459	2,964

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	[ ] おおむね順調 [ ] いっそうの推進が必要 [ ] 扱本的に見直しや改善が必要
今後の取組	「略」

## 構成事務事業の評価結果

事業事業数	3	事業	平均点
成果 A	3事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
コスト A	2事業	(66.7%)	
B	1事業	(33.3%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.7
進捗率 A	3事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			
			1.9

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 令和7年3月に策定した「丸森町農業振興ビジョン(第二次)」に基づき各種事業を展開し、農産加工に意欲やノウハウを持つ人材の確保に努め、6次産業を推進する。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	6・2・1	評価担当課	商工観光課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	地域に活力をもたらす企業誘致の推進					
目標	地元中小企業の振興に満足している町民の割合					
現状と課題	国道113号沿いの市街地においては小売店舗やコンビニエンスストアの進出がありますが、消費者ニーズの多様化により町内における購買率は年々減少傾向にあります。個人商店では、経営者の高齢化や後継者不足により店の存続が難しく、空き店舗が多くなっています。 町中心部の商店街では、町内の若手商業者等が空き店舗を活用して新たなお店をオープンさせるなど、商店街活性化の動きが見られます。 日常の買い物の利便性を確保するためには、町、商工会、事業所や、地域住民が一丸となって中心市街地の活性化を行なう必要があります。 日本の景気は緩やかな回復傾向にありますが、依然として地域間格差が生じています。本町における企業の多くは中小企業であり、地域経済の活性化や安定した雇用の場の確保に向けて、経営の安定化や事業拡大、起業者の育成など支援を行う必要があります。 本町では製造業を中心とする企業誘致を図り、地元の雇用創出に努めてきました。今後は、地域の特性にあった企業誘致を進めていくことが求められます。				施策の内容	新たな進出企業のニーズに対応できる工場団地の造成など、受け入れ体制を充実させるとともに、異業種間や地域との交流機会を創出して企業の活性化を図ります。

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)		
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)	
新工場操業数(27年度からの累計)	工場	2	6	6	6	6	-	1.00	10	0.60	
			4	4	5	6	/\	-			
製造品出荷額	億円	465	470	470	470	470	-	0.83	475	0.82	
			284	284	253	388	/\	-			
従業者数(従業者4人以上の事業所を対象)	人	1,308	1,500	1,500	1,500	1,500	-	0.76	1,500	0.76	
			1,178	1,178	1,120	1,143	/\	-			
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI			目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)		
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)	
新工場操業数(27年度からの累計)	工場	2	6	6	6	6	-	1.00	10	0.60	
			4	4	5	6	/\	-			
製造品出荷額	億円	465	470	470	470	470	-	0.83	475	0.82	
			284	284	253	388	/\	-			

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	11,083	824	11,952	10,196	77,176	16,316

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		[ ] おおむね順調 [ ] いっぽうの推進が必要 [ ] 抜本的に見直しや改善が必要
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	3	事業	平均点
成果 A	3事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
コスト A	3事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
進捗率 A	3事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

次年度以降の方針 (主担当課)	見直しのうえ継続	【説明欄】 金山工場団地が完成したため、速やかに企業が立地出来るよう誘致活動に積極的に取り組む。
委員会評価	見直しのうえ継続	【委員会意見欄】 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	6・2・2	評価担当課	商工観光課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	地域の賑わいを創出する商業の活性化					
目標	地元中小企業の振興に満足している町民の割合				施策の内容 町内の空き店舗の活用や商店街での買い物等の利便性を向上させ、良好で持続的な商業地域の振興を図ります。また、地域の特性を活かした魅力的な商業環境の整備に努めます。	
現状と課題	<p>国道113号沿いの市街地においては小売店舗やコンビニエンスストアの進出がありますが、消費者ニーズの多様化により町内における購買率は年々減少傾向にあります。個人商店では、経営者の高齢化や後継者不足により店の存続が難しく、空き店舗が多くなっています。</p> <p>町中心部の商店街では、町内の若手商業者等が空き店舗を活用して新たなお店をオープンさせるなど、商店街活性化の動きが見られます。</p> <p>日常の買い物の利便性を確保するためには、町、商工会、事業所や、地域住民が一丸となって中心市街地の活性化を行なう必要があります。</p> <p>日本の景気は緩やかな回復傾向にありますが、依然として地域間格差が生じています。本町における企業の多くは中小企業であり、地域経済の活性化や安定した雇用の場の確保に向けて、経営の安定化や事業拡大、起業者の育成など支援を行なう必要があります。</p> <p>本町では製造業を中心とする企業誘致を図り、地元の雇用創出に努めてきました。今後は、地域の特性にあった企業誘致を進めていくことが求められます。</p>					

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
中心市街地活性化拠点施設利用者数	人	80,000	100,000	110,000	115,000	115,000	-	0.91	100,000	1.05
			107,340	110,286	112,812	105,056	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
中心市街地活性化拠点施設利用者数	人	80,000	100,000	110,000	115,000	115,000	-	0.91	120,000	0.88
			107,340	110,286	112,812	105,056	△	-		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	1,072	5,542	6,492	4,787	99,087	275,269

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調 <input checked="" type="checkbox"/> いっそうの推進が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的に見直しや改善が必要		
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事業	3事業	事業
成果 A	3事業	(100.0%)
B	事業	(0.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
事業	3事業	事業
コスト A	3事業	(100.0%)
B	事業	(0.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
事業	3事業	事業
進捗率 A	3事業	(100.0%)
B	事業	(0.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出	2.0	平均点

次年度以降の方針 (主担当課)	拡充	【説明欄】各事業による成果が表れているので事業を継続しつつ、中心市街地活性化拠点施設の再整備事業に着手し、更なる商業の振興を図る。
委員会評価	拡充	【委員会意見欄】担当課意見のとおり。

# 施 策 評 価 表

令和6年度分

施策コード	6・2・3	施策名	地域企業を支える支援体制の充実	評価担当課	商工観光課	総合戦略	行政経営	過疎
目標	地元中小企業の振興に満足している町民の割合							
現状と課題	<p>国道113号沿いの市街地においては小売店舗やコンビニエンスストアの進出がありますが、消費者ニーズの多様化により町内における購買率は年々減少傾向にあります。個人商店では、経営者の高齢化や後継者不足により店の存続が難しく、空き店舗が多くなっています。</p> <p>町中心部の商店街では、町内の若手商業者等が空き店舗を活用して新たなお店をオープンさせるなど、商店街活性化の動きが見られます。</p> <p>日常の買い物の利便性を確保するためには、町、商工会、事業所や、地域住民が一丸となって中心市街地の活性化を行なう必要があります。</p> <p>日本の景気は緩やかな回復傾向にありますが、依然として地域間格差が生じています。本町における企業の多くは中小企業であり、地域経済の活性化や安定した雇用の場の確保に向けて、経営の安定化や事業拡大、起業者の育成など支援を行なう必要があります。</p> <p>本町では製造業を中心とする企業誘致を取り、地元の雇用創出に努めてきました。今後は、地域の特性にあつた企業誘致を進めたいことが求められます。</p>	施策の内容	町内の中小企業等の経営に必要な資金の融資を円滑にするとともに、併せて商工会への支援体制を強化し、町内商工業の活性化を図ります。また、中小企業向けに次世代の人材を育成するための支援を充実します。					

目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)		
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段・達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)	
町内商工業者数	事業所	508	514	514	514	514	-	0.88	518	0.87	
			450	450	450	450	450	-			
町商工会会員数	人	351	356	356	356	356	-	0.91	361	0.90	
			316	324	324	324	324	-			
起業支援者数	人	-	30	30	30	30	-	1.17	30	1.17	
			39	29	32	35	35	-			
起業者数	人	-	6	6	6	6	-	1.17	6	1.17	
			0	4	3	7	7	-			
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI			目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)		
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段・達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)	
町内商工業者数	事業所	508	514	514	514	514	-	0.88	523	0.86	
			450	450	450	450	450	-			
町商工会会員数	人	351	356	356	356	356	-	0.89	361	0.88	
			316	324	324	317	317	-			

構成事務事業の事業費合計(単位千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	277,795	278,705	137,463	115,312	186,690	121,373

取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」	
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		【 】おおむね順調 【 】いっそうの推進が必要 【 】抜本的に見直しや改善が必要
今後の取組	「略」	

## 構成事務事業の評価結果

事業	事業	事業	平均点
成果 A	6事業	(75.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	2事業	(25.0%)	1.5
未実施	事業	(0.0%)	
事業	事業	事業	平均点
コスト A	3事業	(37.5%)	
B	5事業	(62.5%)	
C	事業	(0.0%)	1.4
未実施	事業	(0.0%)	
事業	事業	事業	平均点
進捗率 A	6事業	(75.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	2事業	(25.0%)	1.5
未実施	事業	(0.0%)	

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 成果が表れつつあるので、現状を維持し各事業を継続する。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	6・2・4	評価担当課	商工観光課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	働きやすい労働環境の形成			-	-	
目標	地元中小企業の振興に満足している町民の割合					
現状と課題	国道113号沿いの市街地においては小売店舗やコンビニエンスストアの進出がありますが、消費者ニーズの多様化により町内における購買率は年々減少傾向にあります。個人商店では、経営者の高齢化や後継者不足により店の存続が難しく、空き店舗が多くなっています。 町中心部の商店街では、町内の若手商業者等が空き店舗を活用して新たなお店をオープンさせるなど、商店街活性化の動きが見られます。 日常の買い物の利便性を確保するためには、町、商工会、事業所や、地域住民が一丸となって中心市街地の活性化を行なう必要があります。 日本の景気は緩やかな回復傾向にありますが、依然として地域間格差が生じています。本町における企業の多くは中小企業であり、地域経済の活性化や安定した雇用の場の確保に向けて、経営の安定化や事業拡大、起業者の育成など支援を行う必要があります。 本町では製造業を中心とする企業誘致を図り、地元の雇用創出に努めてきました。今後は、地域の特性にあった企業誘致を進めていくことが求められます。				施策の内容	ハローワークをはじめとした関係機関との連携により、雇用情報の提供や企業に対する雇用促進を働きかけるとともに、資金融資の円滑化により労働者の生活安定を図ります。

目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
商工会会員事業所永年勤続優良従業員	名	6	5	5	5	5	-	1.00	8	0.63
			6	5	0	5	△	-		
町の人口に占める生産年齢人口の割合	%	53.0	55.0	55.0	55.0	55.0	-	0.80	55.0	0.80
			48.0	48.0	47.0	44.0	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	-	#DIV/0!	#DIV/0!
							△	-	#DIV/0!	

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	16,470	60,575	95,103	33,689	8,986	8,562

取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」			
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		<input type="checkbox"/> おおむね順調 <input type="checkbox"/> いっそうの推進が必要 <input type="checkbox"/> 抜本的に見直しや改善が必要		
今後の取組	「略」			

構成事務事業の評価結果

事務事業数	4	事業
成果 A	3事業	(75.0%)
B	1事業	(25.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
コスト A	2事業	(50.0%)
B	2事業	(50.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
進捗率 A	4事業	(100.0%)
B	事業	(0.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

次年度以降の方針 (主担当課)	見直しのうえ継続	【説明欄】 事業内容を見直しながら各種事業を継続するとともに、引き続き物価等を注視しながら、必要に応じて支援等を実施する。
委員会評価	見直しのうえ継続	【委員会意見欄】 担当課意見のとおり。

# 施 策 評 価 表

令和6年度分

施策コード	7・1・1	評価担当課	商工観光課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	観光交流人口の拡大を支える施設の充実					
目 標	観光交流人口(暦年)					
現状と課題	<p>近年、ライフスタイルや価値観の変化とともに、観光の形態やニーズが多様化しており、従来の「見る」観光に加え、地域固有の資源を生かした「体験・交流する」観光の需要が高まっています。</p> <p>本町の主な観光資源は、「蔵の郷土館瀬理屋敷」、「不動尊公園キャンプ場」、「阿武隈ライン舟下り」などがあり、自然や歴史に触れることができるものが中心です。このほかに町では、「いきいき交流センター大内」、「八雄館」「手しごと館」、「滞在型市民農園」といった観光・交流の拠点となる施設を整備し、丸森型グリーン・ツーリズムの推進に努めてきました。</p> <p>平成25年から開催されている「サイクルフェス丸森」は、県内外からの参加者が集まり「丸森の自然と人の交流が楽しめる」と自転車愛好家から注目されているイベントの一つとなっています。</p> <p>今後も、豊かな自然や歴史・文化が育んできた地域資源を生かし、交流人口の拡大と、それと伴う経済的な波及効果へ結びつけることが重要となってきます。また、観光産業だけではなく、様々な産業の人々が関わる地域全体で観光客を受け入れていく仕組みづくりも必要です。</p>	施策の内容	平成26年度策定の「丸森町交流人口70万人計画」に基づき、「国民宿舎あぶくま荘」や「蔵の郷土館瀬理屋敷」、「不動尊公園キャンプ場」等の既存施設の再整備を行うほか、新たに施設を整備することも検討しながら交流人口の回復増加と地域活性化を目指します。			

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
あぶくま荘利用者数(年度)	千人	65	70	70	70	70	-	0.43	87	0.34
			26	32	30	30	△	-		
観光交流人口	千人	-	400	400	560	600	-	0.89	700	0.77
			393	520	560	536	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
あぶくま荘利用者数(年度)	千人	65	70	70	70	70	-	0.43	87	0.34
			26	32	30	30	△	-		
観光交流人口	千人	-	400	400	560	600	-	0.89	700	0.77
			393	520	560	536	△	-		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	168,359	137,652	96,249	82,976	97,500	106,453

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果  施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	「略」		
	【】おおむね順調	【】いっそうの推進が必要	【】抜本的に見直しや改善が必要
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

構成事務事業の評価結果		
構成事業数	6	事業
成果 A	4事業	(66.7%)
B	1事業	(16.7%)
C	1事業	(16.7%)
未実施	事業	(0.0%)
コスト A	3事業	(50.0%)
B	2事業	(33.3%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
進捗率 A	1事業	(16.7%)
B	3事業	(50.0%)
C	2事業	(33.3%)
未実施	事業	(0.0%)

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

1.3

次年度以降の方針 (主担当課)	見直しのうえ継続	【説明欄】
		事業内容を見直しながら各事業を継続するとともに、利用者などの安全を第一に、計画的に施設の整備を進めていく。
委員会評価	見直しのうえ継続	【委員会意見欄】
		担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	7-1-2	評価担当課	商工観光課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	観光交流を生み出す仕掛けづくり					
目標	観光交流人口(暦年)				施策の内容	インターネット等による情報発信の強化や、「霧理幻夜」、「サイクルフェスタ丸森」等のイベントをはじめ、丸森町の自然、歴史・文化等の豊かな地域資源を活かしたグリーン・ツーリズムの推進を図ることで交流人口の回復増加と地域活性化を目指します。
現状と課題	<p>近年、ライフスタイルや価値観の変化にともなって、観光の形態やニーズが多様化しており、従来の「見る」観光に加え、地域固有の資源を生かした「体験・交流する」観光の需要が高まっています。</p> <p>本町の主な観光資源は、「蔵の郷土館霧理屋敷」、「不動尊公園キャンプ場」、「阿武隈ライン舟下り」などがあり、自然や歴史に触れることができるものが中心です。このほかに町では、「いきいき交流センター大内」、「八雄館」、「手しごと館」、「滞在型市民農園」といった観光・交流の拠点となる施設を整備し、丸森型グリーン・ツーリズムの推進に努めています。</p> <p>平成25年から開催されている「サイクルフェスタ丸森」は、県内外からの参加者が集まり「丸森の自然と人との交流が楽しめる」と自転車愛好家から注目されているイベントの一つとなっています。</p> <p>今後も、豊かな自然や歴史・文化が育んできた地域資源を生かし、交流人口の拡大と、それに伴う経済的な波及効果へ結びつけることが重要となります。また、観光産業だけではなく、様々な産業の人々が関わり地域全体で観光客を受け入れていく仕組みづくりも必要です。</p>					

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
各種ツアー参加者数	人	0.0	400	450	450	900	-	1.46	360	3.64
			353	131	622	1,312	△	-		
							-	#DIV/0!		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
各種ツアー参加者数	人	0.0	400	450	450	900	-	1.46	360	3.64
			353	131	622	1,312	△	-		
							-	#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	40,659	36,465	39,941	31,842	35,067	48,309

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要	
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	7	事業	
成果 A	4事業	(57.1%)	
B	2事業	(28.6%)	
C	1事業	(14.3%)	平均点 1.4
未実施	事業	(0.0%)	
コスト A	3事業	(42.9%)	
B	4事業	(57.1%)	平均点 1.4
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
進捗率 A	5事業	(71.4%)	
B	1事業	(14.3%)	平均点 1.6
C	1事業	(14.3%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点 1.5

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	[説明欄] 成果が表れつつあり、現状の取組を維持し各事業を継続していく。
委員会評価	拡充	[委員会意見欄] 一部事業の拡充を予定しているため。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	7-2-1	評価担当課	企画財政課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	広域的で多様な交流を生み出すしくみづくり					
目標	行事やイベント等の交流の場の充実に満足している町民の割合 交流活動を通じての元気な地域づくりに満足している町民の割合					
現状と課題	毎年、姉妹都市である北海道北見市及びアメリカ合衆国ヘット市と「教育・文化・スポーツ」等の交流を行い、国内外を問わず相互の友好を深めています。 丸森ファンネットワーク事業は、会員(町外者)の方に対して定期的な会報による情報発信や特産品の提供を行っており、会員の方からは本町のまちづくりへの意見・提言をもらうという新たな視点での友好を深める交流施策を行っております。				施策の内容	姉妹都市交流事業や丸森ファンネットワーク事業を通じて広域的で多様な交流により、地域づくりや人づくりを行い、交流による新たな視点を取り入れたまちづくりなどを推進していきます。

目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
丸森町姉妹都市交流事業参加者数	人	42	100	100	100	100	-	0.89	50	1.78
			0	79	116	89	△	-		
							-	#DIV/0!		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
丸森町姉妹都市交流事業参加者数	人	42	100	100	100	100	-	0.89	50	1.78
			0	79	116	89	△	-		
							-	#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	21,407	16,441	3,313	2,007	2,086	2,116

取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要	
今後の取組	「略」		

構成事務事業の評価結果

事業事業数	2	事業	平均点
成果 A	1事業	(50.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	1事業	(50.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
コスト A	1事業	(50.0%)	平均点
B	事業	(0.0%)	
C	1事業	(50.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
進捗率 A	1事業	(50.0%)	平均点
B	事業	(0.0%)	
C	1事業	(50.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

1.0

1.0

1.0

1.0

次年度以降の方針 (主担当課)	見直しのうえ継続	【説明欄】 丸森町姉妹都市交流協会のあり方を検討しながら、住民同士の交流が継続できるよう、継続して事業を実施していくます。 宮城県南4市9町のインバウンド観光振興のための組織において、インバウンド観光振興による雇用の創出や基幹産業である第1次産業と連携した形を検討しながら、地域経済の活性化を図っていきます。
委員会評価	見直しのうえ継続	【委員会意見欄】 担当課意見のとおり。

# 施 策 評 價 表

令和6年度分

施策コード	8・1・1	評価担当課	子育て定住推進課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	定住につながる魅力的な住環境の整備			○	-	○
目標	若者定住対策による活気あるまちづくりに満足している町民の割合 丸森町は住みよいまちと感じている町民の割合	施策の内容				
現状と課題	本町の急速な少子高齢化の要因の一つとして、若年層が安定的な雇用や快適な住居を求めて都市へ流出していることがあげられます。これまでも新婚・子育て世代など若者の町内定住を促進するため、定住施策の充実に努めてきましたが、更なるニーズに応じた「若者定住対策」を推進する必要があります。 多くの人が“住んでみたい”“住み続けたい”と思える、快適で魅力的な住環境の整備が求められています。 町営住宅を284戸(平成26年12月現在)運営管理していますが、老朽化の進んだ住宅については、修繕や建替えによる計画的な維持管理が必要となります。	新婚・子育て世代に対して、若者定住促進住宅や定住促進団地の提供、新築やリフォーム住宅取得、賃貸住宅家賃支援を行うとともに、民間業者へのアパート経営事業や宅地開発事業への支援による若者定住施策を推進します。 また、移住を希望する方に対して、地域が主体となった受入体制を促進することで幅広い世代の定住促進を図ります。 地域の資源を活かした魅力的な住環境の整備と宅地造成事業による定住施策を推進します。				

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)		
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)	
新たに定住した人数	人	21	20	25	25	25	-	1.12	20	1.40	
		30	33	30	28			-			
移住相談件数	件	-	60	60	60	60	-	1.37	10	8.20	
		54	57	37	82			-			
移住相談実施回数	回／年	-	4	4	4	4	-	1.50	4	1.50	
		1	5	8	6			-			
希望者に提供できる空き家の数	戸	-	20	20	20	20	-	3.70	20	3.70	
		30	46	64	74			-			
定住促進住宅整備戸数	戸	44	66	66	66	66	-	1.00	68	0.97	
		66	66	66	66			-			
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI		単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	
新たに定住した人数	人	21	20	25	25	29	-	0.97	20	1.40	
		30	33	30	28			-			
定住促進住宅整備戸数	戸	44	66	66	66	66	-	1.00	68	0.97	
		66	66	66	66			-			

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	110,232	31,061	46,337	58,825	44,022	72,370

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<input type="checkbox"/> おおむね順調 <input type="checkbox"/> いっそうの推進が必要 <input type="checkbox"/> 抜本的に見直しや改善が必要		
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	10	事業	平均点
成果 A	6事業	(60.0%)	
B	2事業	(20.0%)	
C	2事業	(20.0%)	1.4
未実施	事業	(0.0%)	
コスト A	9事業	(90.0%)	
B	1事業	(10.0%)	
C	事業	(0.0%)	1.9
未実施	事業	(0.0%)	
進捗率 A	8事業	(80.0%)	
B	1事業	(10.0%)	
C	1事業	(10.0%)	1.7
未実施	事業	(0.0%)	
平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			1.7

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】
		若者世代に対する若者定住促進住宅の提供や住宅取得費用の補助を行うなど、引き続き移住・定住の促進を図る。また、空き家の利活用など地域資源を活かした魅力的な住環境の整備に努める。
委員会評価	拡充	【委員会意見欄】
		一部事業の拡充を予定しているため。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	8・1・2	評価担当課	建設課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	良好な住環境の形成			○	-	○
目標	若者定住対策による活気あるまちづくりに満足している町民の割合 丸森町は住みよいまちを感じている町民の割合					
現状と課題	本町の急速な少子高齢化の要因の一つとして、若年層が安定的な雇用や快適な住居を求めて都市へ流出していることがあげられます。これまで新婚・子育て世代など若者の町内定住を促進するため、定住施策の充実に努めてきましたが、更なるニーズに応じた「若者定住対策」を推進する必要があります。 多くの人が“住んでみたい”“住み続けたい”と思える、快適で魅力的な住環境の整備が求められています。 町営住宅を284戸(平成26年12月現在)運営管理していますが、老朽化の進んだ住宅については、修繕や建替えによる計画的な維持管理が必要となります。				施策の内容	新婚・子育て世代に対して、若者定住促進住宅や定住促進団地の提供、新築やリフォーム住宅取得、賃貸住宅家賃支援を行うとともに、民間業者へのアパート経営事業や宅地開発事業への支援による若者定住施策を推進します。 また、移住を希望する方に対して、地域が主体となった受入体制を促進することで幅広い世代の定住促進を図ります。 地域の資源を活かした魅力的な住環境の整備と宅地造成事業による定住施策を推進します。

目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
快適に暮らせる町営住宅(定住含む)	戸	106	203	239	287	301	-	0.95	284	1.00
			115	209	283	285	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
快適に暮らせる町営住宅(定住含む)	戸	106	203	239	287	301	-	0.95	305	0.93
			115	209	283	285	△	-		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	258,673	11,911	280,916	1,459,101	47,785	80,865

取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要		
今後の取組	「略」		

構成事務事業の評価結果

事業事業数	10	事業	平均点
成果 A	7事業	(70.0%)	
B	2事業	(20.0%)	
C	1事業	(10.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.6
コスト A	8事業	(80.0%)	
B	2事業	(20.0%)	
C	事業	(0.0%)	1.8
未実施	事業	(0.0%)	
進捗率 A	7事業	(70.0%)	
B	2事業	(20.0%)	1.6
C	1事業	(10.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点
平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			
			1.7

次年度以降の方針 (主担当課)	見直しのうえ継続	[説明欄] 町営住宅は町営住宅長寿命化計画により、引き続き快適な住環境の提供に努める。また、若者定住推進住宅や上滝地区分譲の未販売区画など、引き続き各事業の効果を確認し必要があれば見直しを行い、若年世代を中心とした住民への快適な住環境の提供により定住を促進する。
委員会評価	見直しのうえ継続	[委員会意見欄] 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	8・2・1	評価担当課	企画財政課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	阿武隈急行線の利用促進及び支援					
目標	公共交通の利便性に満足している町民の割合				施策の内容	
現状と課題	<p>鉄道は、福島～楢木を結ぶ阿武隈急行線が南北に通り、最寄り駅としてあぐくま駅、丸森駅、北丸森駅の3駅があります。通勤・通学の利用だけではなく、本町への観光客の交通手段としての役割を担っていますが、乗降客数は減少傾向にあります。町では、通勤・通学者を対象とした通勤定期券・通賃の助成や、観光客向けのお買物券サービスなど、阿武隈急行線の利用促進に向けた様々な事業を展開しています。</p> <p>町民の身近な交通機関である町民バス、予約型乗合タクシー「あし丸くん」を運行しています。特に、「あし丸くん」は、自宅から町中心部のまちなか拠点施設まで運行しており、町民が利用しやすい交通手段となっています。</p> <p>急速な高齢化によって、誰もが安心して利用できる移動手段として、その役割がますます期待されることから、町民・行政・交通事業者が連携をとりながら、ニーズに合った公共交通環境の整備が求められています。</p>				本町にとって欠かせない公共交通機関である阿武隈急行線については、適切な駅施設の維持管理を行い、利用しやすい環境を整えるとともに、安全な運行に必要な車両等の修繕や設備導入などを支援します。また、阿武隈急行線に関係する各種イベントの開催や情報誌の発行などにより利用促進を図ります。	

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
阿武隈急行線利用者数	千人	246	179	179	179	179	-	1.00	246	0.73
			134	136	183	179	△	-		
							△	#DIV/0!		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
			246	179	179	179	179	-	1.00	179
阿武隈急行線利用者数	千人		134	136	183	179	△	-		
							△	#DIV/0!		
							△	-		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	63,193	63,414	133,966	96,171	85,067	41,304

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要	
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事業事業数	3	事業	平均点
成果 A	2事業	(66.7%)	
B	1事業	(33.3%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.7
コスト A	2事業	(66.7%)	
B	1事業	(33.3%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.7
進歩率 A	1事業	(33.3%)	
B	2事業	(66.7%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点
平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			

次年度以降の方針 (主担当課)	見直しのうえ継続	【説明欄】  本町にとって欠かせない公共交通機関である「阿武隈急行線」については、適切な駅施設の維持管理を行い、利用しやすい環境を整えるとともに、安全な運行に必要な車両及び設備の導入や修繕などを支援します。また、「阿武隈急行線」に関する各種イベントの開催や情報誌の発行などにより利用促進を図ります。
委員会評価	見直しのうえ継続	【委員会意見欄】  担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	8・2・2	評価担当課	企画財政課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	身近な公共交通手段の確保					
目標	公共交通の利便性に満足している町民の割合				施策の内容	
現状と課題	<p>鉄道は、福島～横木を結ぶ阿武隈急行線が南北に通り、最寄り駅としてあぐくま駅、丸森駅、北丸森駅の3駅があります。通勤・通学の利用だけではなく、本町への観光客の交通手段としての役割を担っていますが、乗降客数は減少傾向にあります。町では、通勤・通学者を対象とした通勤定期券・通運の助成や、観光客向けのお買物券サービスなど、阿武隈急行線の利用促進に向けた様々な事業を展開しています。</p> <p>町民の身近な交通機関である町民バス、予約型乗合タクシー「あし丸くん」を運行しています。特に、「あし丸くん」は、自宅から町中心部のまちなか拠点施設まで運行しており、町民が利用しやすい交通手段となっています。</p> <p>急速な高齢化によって、誰もが安心して利用できる移動手段として、その役割がますます期待されることから、町民・行政・交通事業者が連携をとりながら、ニーズに合った公共交通環境の整備が求められています。</p>				町民の身近な交通手段である町民バスの運行や予約型乗合タクシー「あし丸くん」への運行支援等を行い、町民の身近な公共交通を確保し安心・安全で快適な暮らしを支えます。	

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
バス等公共交通利用者数(阿武隈急行線除く)	人	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	-	0.55	70,000	0.55
			40,035	37,184	38,096	38,612	△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
バス等公共交通利用者数(阿武隈急行線除く)	人	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	-	0.55	70,000	0.55
			40,035	37,184	38,096	38,612	△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	61,707	63,790	77,272	79,443	65,816	64,166

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<p>[ ] おおむね順調</p> <p>[ ] いっそうの推進が必要</p> <p>[ ] 抜本的に見直しや改善が必要</p>		
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	3	事業	
成果 A	事業	(0.0%)	
B	1事業	(33.3%)	
C	2事業	(66.7%)	
未実施	事業	(0.0%)	
コスト A	1事業	(33.3%)	
B	事業	(0.0%)	
C	2事業	(66.7%)	
未実施	事業	(0.0%)	
進捗率 A	事業	(0.0%)	
B	1事業	(33.3%)	
C	2事業	(66.7%)	
未実施	事業	(0.0%)	
平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			0.4

次年度以降の方針 (主担当課)	見直しのうえ継続	【説明欄】
		現在の公共交通体系は維持を基本に進める一方で、阿武隈急行線を含めた、総合交通体系の見直しを視野に、利用状況の調査を進める。一方で、行政主導による公共交通網整備は、人口減少に反比例する事業費増大が近い将来大きな課題になることが予想されるため、地域主体による地域内の移動手段の確保について引き続き検討を進めていく。
委員会評価	見直しのうえ継続	【委員会意見欄】 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	8・3・1	評価担当課	建設課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	広域交通体系の整備					
目標	幹線道路(国・県道)の整備に満足している町民の割合					
	生活道路(身近な道路)の整備に満足している町民の割合					
現状と課題	広域幹線道路としては、相馬市～角田市～白石市を連絡する国道113号、角田市～福島県伊達市を連絡する国道349号が通っています。これらの路線と主要地方道3路線、一般県道7路線が接続し、幹線道路網が形成されています。 生活道路については、これまで計画的に整備を進めてきましたが、多くの路線において、幅員が狭く、全体的に損傷が進んでいることから、計画的な改良・補修を行い、安全で快適な道路環境を整備が求められています。				施策の内容	隣接市町とともに町内の各地域を結ぶ、国道113号、349号及び主要地方道丸森雲山線等の広域的な交通体系の骨格を形成するアクセス道路については、整備促進や全面改良に向けた要望活動を進めます。

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
要望路線着工率	%	20	100	100	100	100	-	1.00	100	1.00
			100	100	100	100	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
要望路線着工率	%	20	100	100	100	100	-	1.00	100	1.00
			100	100	100	100	△	-		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	90	1,136	92	103	113	154

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要	
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	4	事業	平均点
成果 A	3事業	(75.0%)	
B	1事業	(25.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
コスト A	4事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	2.0
進捗率 A	4事業	(100.0%)	
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

1.9

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 引続き近隣市町と連携し積極的な要望活動を実施していく。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	8・3・2	評価担当課	建設課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	主要道路の整備					
目標	幹線道路(国・県道)の整備に満足している町民の割合					
	生活道路(身近な道路)の整備に満足している町民の割合					
現状と課題	広域幹線道路としては、相馬市～角田市～白石市を連絡する国道113号、角田市～福島県伊達市を連絡する国道349号が通っています。これらの路線と主要地方道3路線、一般県道7路線が接続し、幹線道路網が形成されています。 生活道路については、これまで計画的に整備を進めてきましたが、多くの路線において、幅員が狭く、全体的に損傷が進んでいることから、計画的な改良・補修を行い、安全で快適な道路環境を整備が求められています。				施策の内容	町民の日常生活、物流等の経済活動を支える主要道路については、快適で利便性の高い道路環境の整備を進めます。また、子どもから高齢者の誰もが安心・安全に通行できる道路環境を提供します。

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
事業進捗率	%	0.0	50.0	60.0	60.0	見直し	-	#VALUE!	100	0.48
			48.0	48.0	48.0	48.0	△	-		
道路改良率	%	67.9	69.4	69.4	69.4	70.0	-	0.99	70	0.99
			69.3	69.3	69.0	69.3	△	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
事業進捗率	%	0.0	50.0	60.0	60.0	見直し	-	#VALUE!	100	0.48
			48.0	48.0	48.0	48.0	△	-		
道路改良率	%	67.9	69.4	69.4	69.4	70.0	-	0.99	70	0.99
			69.3	69.3	69.0	69.3	△	-		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	712	37,148	64,454	319,819	390,469	1,015,100

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<input type="checkbox"/> おおむね順調 <input type="checkbox"/> いっそうの推進が必要 <input type="checkbox"/> 抜本的に見直しや改善が必要		
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	51	事業	平均点
成果 A	3事業	(5.9%)	
B	4事業	(7.8%)	
C	10事業	(19.6%)	
未実施	事業	(0.0%)	
コスト A	11事業	(21.6%)	1.5
B	4事業	(7.8%)	
C	2事業	(3.9%)	
未実施	事業	(0.0%)	
進捗率 A	3事業	(5.9%)	0.6
B	5事業	(9.8%)	
C	9事業	(17.6%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	[説明欄] これまで生活道路の整備については、災害復旧事業を優先に進めていたが、令和6年度以降は、復旧事業の完了に伴い、社総交・道整備交付金等の補助金事業を活用し、事業進捗を図り、快適で利便性の高い道路環境の整備を進めたい。
委員会評価	現状維持	[委員会意見欄] 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	8-3-3	評価担当課	建設課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	人にやさしい道路管理			-	-	
目標	幹線道路(国・県道)の整備に満足している町民の割合					
	生活道路(身近な道路)の整備に満足している町民の割合					
現状と課題	広域幹線道路としては、相馬市～角田市～白石市を連絡する国道113号、角田市～福島県伊達市を連絡する国道349号が通っています。これらの路線と主要地方道3路線、一般県道7路線が接続し、幹線道路網が形成されています。 生活道路については、これまで計画的に整備を進めてきましたが、多くの路線において、幅員が狭く、全体的に損傷が進んでいることから、計画的な改良・補修を行い、安全で快適な道路環境を整備が求められています。				施策の内容	道路交通の安全性・円滑性・快適性等を確保し、防災、ライフライン等の機能向上を図るため、町民と行政が協働により、歩行者と自動車が安全に通行できる道路の維持管理に努めます。

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
橋梁長寿命化計画策定	%	19.3	100	100	100	100	-	1.00	100	1.00
			100	100	100	100	△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!
							△	-		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	79,992	94,068	109,193	86,989	172,160	243,071

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要	
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	10	事業	平均点
成果 A	6事業	(60.0%)	
B	2事業	(20.0%)	
C	1事業	(10.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
コスト A	5事業	(50.0%)	平均点
B	4事業	(40.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
進捗率 A	3事業	(30.0%)	平均点
B	5事業	(50.0%)	
C	1事業	(10.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 道路・橋梁等ライフケインの向上を図るために、メンテナンスが不可欠であり、優先箇所を決めて交通安全の確保を図る。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	8・4・1	評価担当課	建設課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	安心・安全なおいしい水供給の推進					
目標	上水道などの飲料水の確保に満足している町民の割合 下水道の整備と污水や雨水の処理に満足している町民の割合					
現状と課題	本町は、集落が広範囲に散在しており、多様な地理的条件を有していることから、水道普及率が低迷しています。今後は水道水源の確保はもとより、地域それぞれの特性を生かした効率的な整備が必要です。 公共下水道は、計画区域面積の89.4%（平成26年3月末日現在）まで整備が進んでおり、宅地への公共樹設置は完了しています。今後は、水洗化の普及に努めるとともに、下水道等処理区域外の地区については、合併浄化槽の普及に努める必要があります。 安全で安定的な水供給・処理を維持していくため、公共下水道及び農業集落排水施設の老朽化への対応や耐震性の向上など長期的な視点に立った維持管理が重要な課題となっています。				施策の内容	安心・安全な水を安定的に供給するため、水道施設の適正な維持管理及び運営管理とともに、水道未給水地区への水道施設等の整備を進めます。

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
行政区域内水道普及率	%	65.4	76.8	76.9	77.2	77.7	-	1.01	70.0	1.13
			77.8	77.5	78.6	78.8	△	-		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
行政区域内水道普及率	%	65.4	76.8	76.9	77.2	77.7	-	1.01	74.0	1.06
			77.8	77.5	78.6	78.8	△	-		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	37,237	19,900	49,399	86,271	199,298	217,800

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<input type="checkbox"/> おおむね順調 <input type="checkbox"/> いっそうの推進が必要 <input type="checkbox"/> 扱本的に見直しや改善が必要		
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事業事業数	6	事業
成果 A	6事業	(100.0%)
B	事業	(0.0%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
コスト A	5事業	(83.3%)
B	1事業	(16.7%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)
進捗率 A	5事業	(83.3%)
B	1事業	(16.7%)
C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

平均点	2.0
平均点	1.8
平均点	1.8
平均点	1.9

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	[説明欄]
		令和4年度から令和7年度で、老朽化した渕ノ上配水池の更新を実施し、安定した水道水の供給を図る。
委員会評価	現状維持	[委員会意見欄]
		担当課意見のとおり。

# 施策評価表

令和6年度分

施策コード	8・4・2	評価担当課	建設課	総合戦略	行政経営	過疎
施策名	環境に配慮した水処理の推進			-	-	
目標	上水道などの飲料水の確保に満足している町民の割合 下水道の整備と污水や雨水の処理に満足している町民の割合					
現状と課題	本町は、集落が広範囲に散在しており、多様な地理的条件を有していることから、水道普及率が低迷しています。今後は水道水源の確保はもとより、地域それぞれの特性を生かした効率的な整備が必要です。 公共下水道は、計画区域面積の89.4%（平成26年3月末日現在）まで整備が進んでおり、宅地への公共樹設置は完了しています。今後は、水洗化の普及に努めるとともに、下水道等処理区域外の地区については、合併浄化槽の普及に努める必要があります。 安全で安定的な水供給・処理を維持していくため、公共下水道及び農業集落排水施設の老朽化への対応や耐震性の向上など長期的な視点に立った維持管理が重要な課題となっています。				施策の内容	衛生的で快適な暮らしを支え、公共用水域の環境負荷の低減をめざし、下水道・合併浄化槽による水洗化の普及を推進します。また、既存下水道施設等の長寿命化及び耐震対策による適正な維持管理を実施し、公衆衛生・生活環境の向上を図ります。

## 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
水洗化普及率	%	69.9	86.1	86.1	86.1	86.1	-	0.83	86.1	0.83
			65.7	67.3	70.2	71.2	/\	-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							/\	-	#DIV/0!	#DIV/0!
							/\	-	#DIV/0!	

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	615,080	301,801	636,578	283,069	978,874	1,173,528

## 取組の総括

1年間の主な取組と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)		[ ]おおむね順調 [ ]いっそうの推進が必要 [ ]抜本的に見直しや改善が必要	
今後の取組	「略」		

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	9	事業	
成果 A	1事業	(11.1%)	
B	7事業	(77.8%)	平均点
C	1事業	(11.1%)	1.0
未実施	事業	(0.0%)	
コスト A	3事業	(33.3%)	
B	6事業	(66.7%)	平均点
C	事業	(0.0%)	1.3
未実施	事業	(0.0%)	
進捗率 A	1事業	(11.1%)	
B	6事業	(66.7%)	平均点
C	2事業	(22.2%)	0.9
未実施	事業	(0.0%)	平均点
平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			1.1

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	[説明欄]
適正な維持管理をするため施設の長寿命化対策を実施するとともに、将来に向けて下水道の維持管理費の削減と効率化を図るため、公共下水道と農業集落排水事業を併せた汚水処理の方法を検討する。下水道等処理区域外の地区については、これまでどおり合併浄化槽の普及に努める。 また、雨水ポンプの増設、直接放流管の整備、寺沢川の改築を行い、床上・床下浸水被害の軽減を図る。		
委員会評価	現状維持	[委員会意見欄]
担当課意見のとおり。		